

千葉市民活動支援センター

2020年度 事業報告書

2021年4月28日

指定管理者

まちづくり千葉・リベルタちば・まちづくり商会

共同事業体

目 次

1. 基本事項	1
(1) 管理運営に係る報告	1
(2) 施設利用実績表	2
(3) 人員の配置及び緊急連絡体制	7
(4) 主な報告内容（日報より特筆事項）	8
(5) 取組目標に対する結果の報告	27
2. 施設使用許可業務	28
(1) 使用許可受付関係	
(2) 利用者要望・苦情への対応等	
(3) 利用者へのサービス向上、利用率向上の工夫	
3. 市民公益活動促進事業に関する報告	31
(1) 受託事業報告	31
(2) 自主事業報告	43
4. 施設維持管理業務の実施報告	44
5. 経営管理業務	45
(1) モニタリングの実施状況、分析結果	45
(2) 自己評価	54
(3) 市との連絡調整の実施状況	58
6. 収支決算	59
(1) 受託事業の収支決算書	59
(2) 自主事業の収支決算書	60

(1) 管理運営に係る報告

①事業計画書の細目に沿った報告

- ・「3. 市民公益活動促進事業に関する報告」において、詳細に記述する。

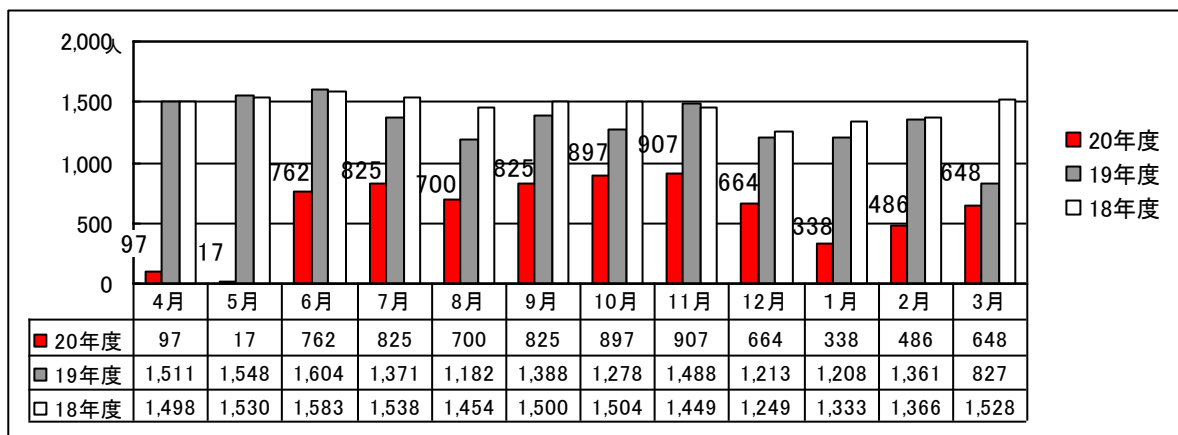
②情報公開事務の実施状況など

- ・文書の公開の申出があった際は、「情報公開規程」に準じ、情報公開事務を実施する。
- ・2020年度においては、公開申出（公開申出書の提出）は0件であった。

1. 基本事項

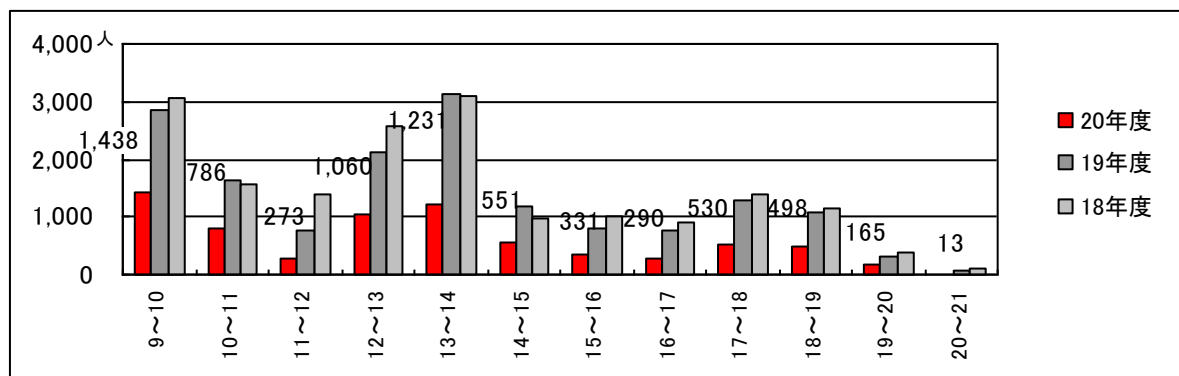
(2) 施設利用実績表 (※カッコ内は2019年度実績)

①月別入館者数 年間合計：7,166人(15,979人)

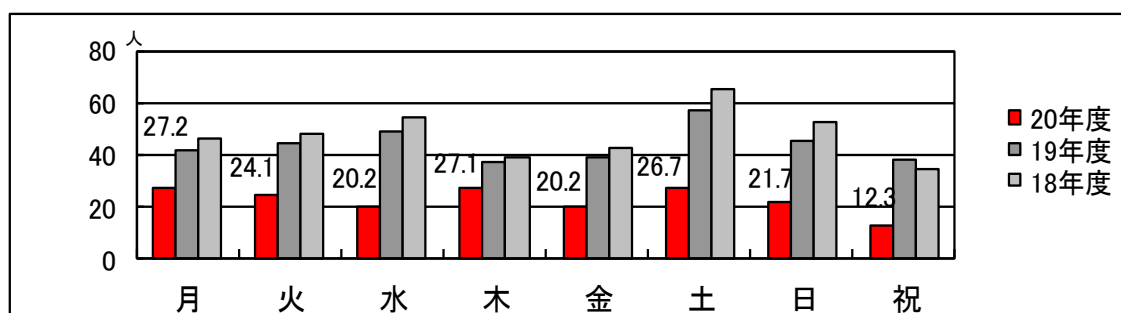


- ・緊急事態宣言の発出に伴う臨時休館や、夜間の休館、外出自粛の影響等が顕著に現れ、年間合計の入館者数は前年度の約44.8%に落ち込みました。
- ・4月から5月にかけて計53日の臨時休館日があり、年間の開館日数は306日間でした。開館日における一日平均の入館者数は「23.4人」で、前年度の「44.5人」と比べると約52.6%であり、この値も大きく落ち込みました。
- ・合計の入館者数は少なかったものの、月別で見ると、冬季(12月から3月)や8月の入館者数が他の月と比べて少ないという傾向は、例年通りに現れました。

②時間別入館者数



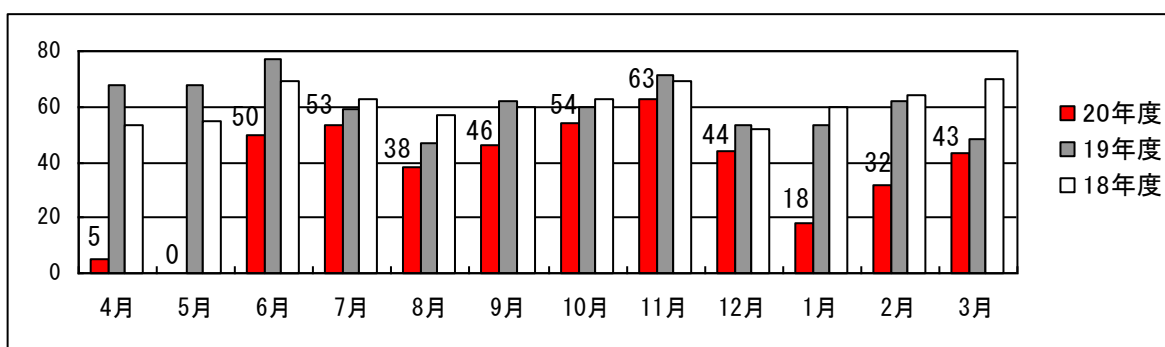
③曜日別入館者数(1日平均数)



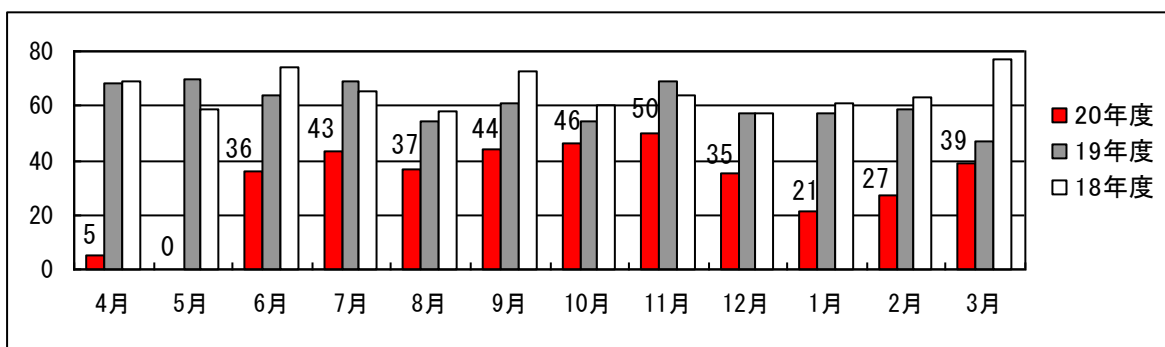
1. 基本事項

- ・時間別の入館者数は、合計の入館者数は少なかったものの、9時台、12時台、13時台が上位3位を占めるという傾向は昨年度までと同様に現れました。18時以降を休館としたり、20時で閉館をしたりといった日が多かったため、夜間の入館者数も低調でしたが、それでも他の時間帯に比べて落ち込みの度合いが極端に大きいといったことはありませんでした。
- ・特殊な要因が働いて入館者数が少なくなったと言えるため、曜日別の入館者数について分析や考察を行うことはあまり意味がないと考えますが、今年度は祝日を除いては、曜日間で目立った差はありませんでした。

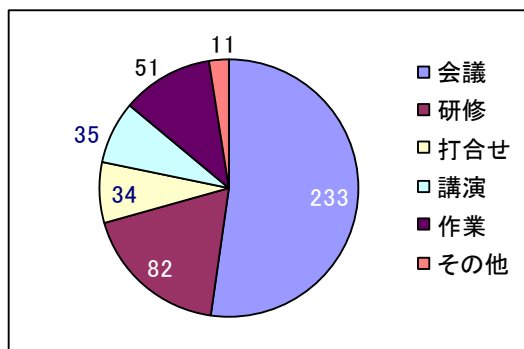
④月別会議室利用団体数 年間合計：446団体（728団体）



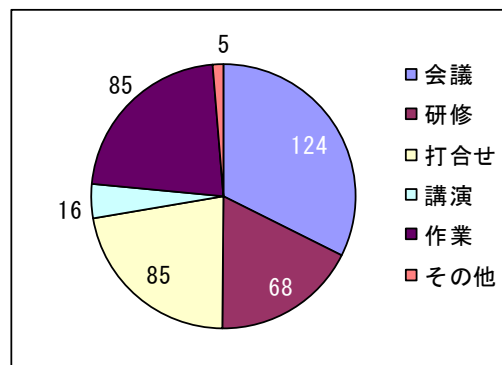
⑤月別談話室利用団体数 年間合計：383団体（729団体）



⑥会議室の利用内訳

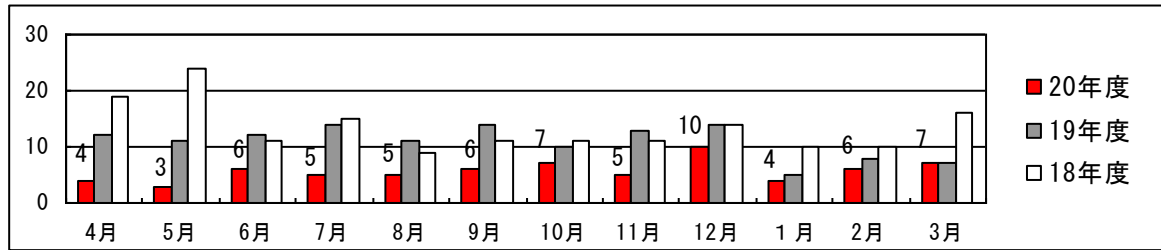


⑦談話室の利用内訳



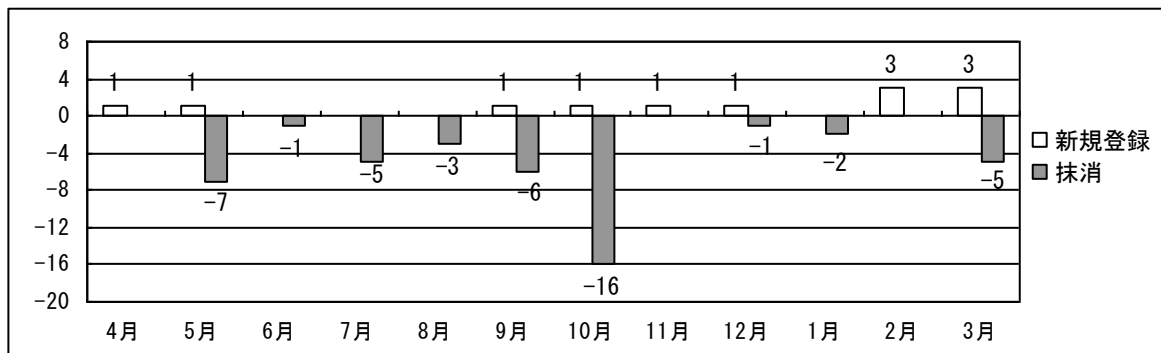
1. 基本事項

⑧紙折機利用回数 年間合計：68回（131回）

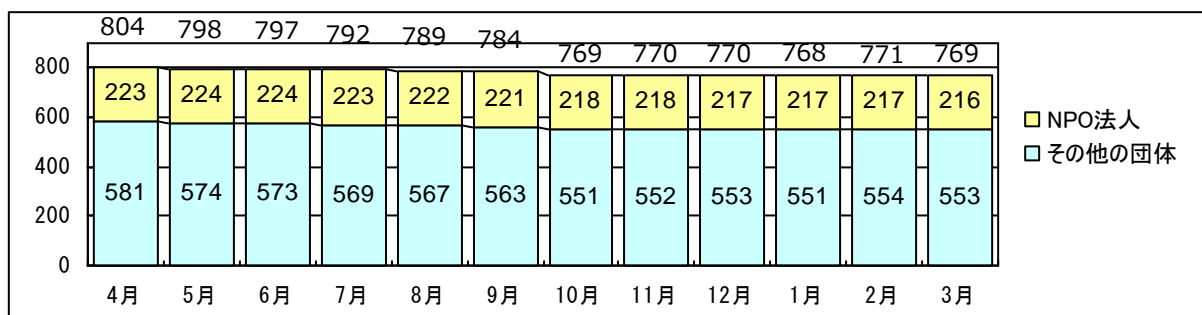


- ・会議室や談話室の利用団体数も、入館者数と同様、前年度に比べて大きく落ち込みました。それでも割合で見ると、会議室は前年度比約 61.3%、談話室は同じく約 52.5%と、入館者数よりは落ち込みの度合いは小さくなっています。
- ・会議室の利用団体数が談話室のそれを大きく上回るという、前年度までは見られなかった傾向が現れました。これは、各室の利用定員を通常時の半数程度に制限したため、定員の多い会議室の利用を希望する団体が多くなったためと考えられます。
- ・利用目的は、両室とも前年度と比べて「研修」目的の利用が件数・割合共に大きく減少しました。件数で見ると、3分の1程度となっています。他、件数で見ると「打合せ」は半分程度、「会議」は3分の2程度となりましたが、「作業」目的での利用はほぼ同数、「講演（講座）」目的での利用はむしろ増えています。また、談話室は利用目的が分散化しているのに対し、会議室は「会議」目的の利用が半数強を占めました。
- ・紙折機の利用回数は、前年度と比べてほぼ半分となりました。

⑨登録団体の増減 前年度比：12増46減

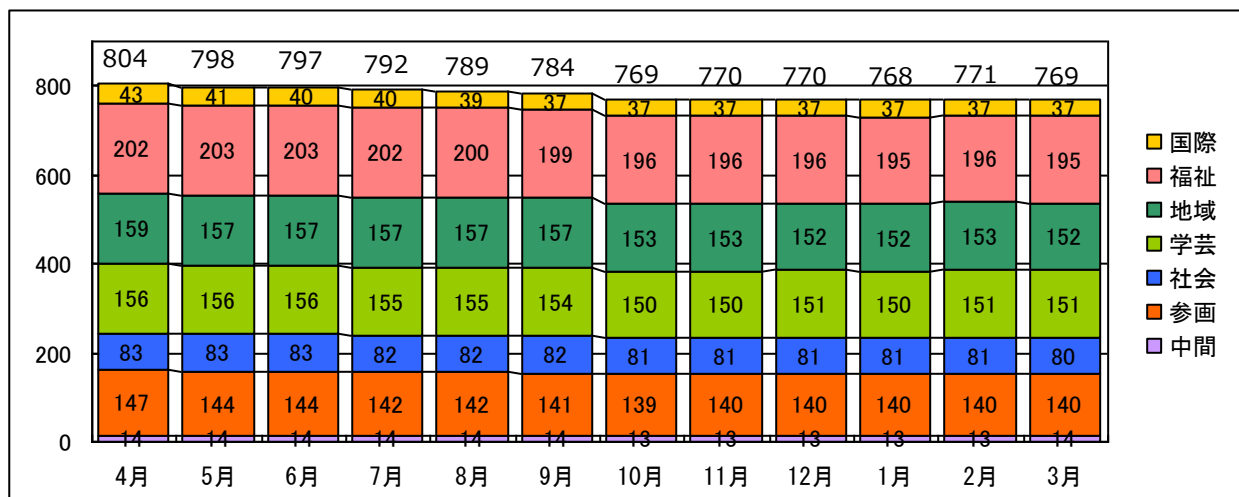


⑩登録団体の推移と区分 2020年度末現在：全769団体（全803団体）



1. 基本事項

⑪登録団体の推移と分野別内訳



●小分野別・NPO法人の有無別の登録団体数（2020度末現在）

中分野	小分野		NPO法人	任意団体	小分野別 団体数計	中分野別 団体数計
国際	国際協力	11	10	27	37	37
福祉	保健・福祉	1	83	112	195	195
地域	まちづくり	3	19	51	70	152
	環境保全	7	18	52	70	
	災害救援	8	1	3	4	
	地域安全	9	4	4	8	
学芸	学術・文化・ 芸術・スポーツ	6	22	124	146	151
	科学技術	15	3	2	5	
社会	社会教育	2	9	33	42	80
	観光の振興	4	0	2	2	
	農山漁村 中山間地域振興	5	2	2	4	
	情報化社会	14	5	6	11	
	経済活動活性化	16	0	12	12	
	消費者保護	18	2	7	9	
参画	人権擁護・ 平和推進	10	2	28	30	140
	男女共同参画	12	3	15	18	
	子どもの 健全育成	13	22	60	82	
	職業能力開発・ 雇用機会拡充	17	5	5	10	
中間支援	中間支援	19	6	8	14	14
	計		216	553	769	769

1. 基本事項

- ・登録団体数は、一年間で34団体の純減となりました。10月に抹消団体数が極端に多くなっていますが、これは指定管理業務とは別の、全登録団体を対象にしたアンケート調査を行った過程で、既に解散していたり、活動を休止していたりする団体が多くあることが発覚したことが影響しており、新型コロナウイルスの影響で登録を抹消したという団体は、さほど多くはありません。一方、新規登録団体は、新型コロナウイルスの影響で活動を行うことが難しい状況が続いたため、4月から1月までの10か月で6団体と、非常に少なくなりました。
- ・46の抹消団体の中に、NPO法人が9含まれていました。うち1団体は、任意団体への変更です。登録団体の中でNPO法人が占める割合は、大きな変化はありません。
- ・登録団体の分野別内訳（中分野）を見ると、1年間で「中間支援」分野以外の全分野で登録団体数が減っています。割合では、「国際」分野が最も大きく減少しました（43団体から37団体へ）。小分野別で見ると、「子どもの健全育成」分野の団体の減少割合も大きくなっています（88団体から82団体へ）。

⑫ロッカー利用団体数 年間累計：83団体

- ・4月末時点でロッカーの利用団体数は73で、すなわち11の空きがありましたが、その後徐々に利用申請があり、3月末時点でロッカーの利用団体数は83となり、空きは一つとなりました。

(3) 人員の配置及び緊急連絡体制

《人員配置》

最低7名の職員を配置し、シフトによりセンターに勤務する。曜日別・時間帯別の人員配置数についてと、勤務時における責任者（以下、単に責任者と呼ぶ）の配置について、下表に示す。

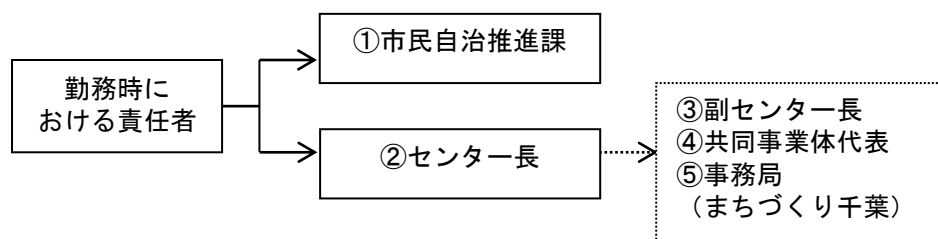
	9：00～18：00 (日中)	18：00～21：00 (夜間)
平日	2名 (うち1名はセンター長、副センター長、または 共同事業体代表が勤務し、責任者となる。)	1名
土曜	2名 (うち1名をシフト決定時に責任者と定める。)	1名
日曜・ 祝日	2名 (うち1名をシフト決定時に責任者と定める。)	

※日中の時間帯も、休憩時（1時間）は1名体制となることがある。

※実際の勤務シフトは、開館前の8:50より最低1名、及び閉館後の21:10(日曜祝日は18:10)まで最低1名が勤務する。

《緊急連絡体制》

緊急時の連絡体制は、以下のとおりとする。緊急時に責任者は、①と②の双方に必ず電話連絡を入れる。②にすぐに連絡がとれなかった場合は、③・④・⑤の順で、どこかに連絡がとれるまで連絡を試みる。また連絡を受けた②は、必要に応じて対応を①や③・④・⑤と協議するとともに、責任者などに対応についての指示を出す。



(4) 主な報告内容（日報より特筆事項）

《4月1日（水）》

■広報依頼の件

「千葉市環境局環境保全部環境保全課」より依頼のあった「令和2年度千葉市地域環境保全自主活動事業補助金」の情報を、本日、千葉市の該当するホームページが更新されたので、それに合わせて当ホームページに掲載した。

《4月3日（金）》

■臨時休館および利用時間の短縮

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための県による外出自粛要請の趣旨に鑑み、当センターも下記のとおり休館・利用時間の短縮をすることが決定した旨、市民自治推進課より連絡があった。

- ・4月4日（土）・5日（日）・11日（土）・12日（日）は臨時休館
- ・4月6日（月）～10日（金）は利用時間を短縮し、17時閉館

これに伴い、以下の対応を行った。

- ・臨時休館日および閉館時間後に施設利用予約をしている団体への個別連絡
- ・ホームページへの案内記事の掲載や、館内及び施設入口への掲示等による周知
- ・「専門家による個別相談」が中止になることに伴う相談員への連絡（申込者はなし）
- ・4月9日の「NPO法人を目指す方のための説明会」が中止になることに伴う主催者との調整（今後申し込みがあった場合の対応の確認など）

《4月7日（火）》

■緊急事態宣言に伴う臨時休館

市民自治推進課より、「緊急事態宣言の発令に伴い、4月8日（水）から5月6日（水・祝）まで、終日臨時休館とする旨の連絡があった。これに伴い、主に以下の対応を順次行った。

- ・臨時休館日に施設利用予約をしている団体への個別連絡
- ・ホームページやfacebook ページへの案内記事の掲載、メーリングリストへの投稿、施設入口への掲示等による周知
- ・「専門家による個別相談」が中止になることに伴う相談員及び申込者への連絡

《4月8日（水）》

■千葉中央警察署警備課の職員来所

休館中であつたが、事務局長了解の上、標記に対応。来所の趣旨の説明を受け、聞き取りに回答した。

■ビル管理関係の職員が来所

緊急事態宣言発令中の当センターの対応などについて問合せあり。ビル管理者として、警備や清掃の体制を決めるにあたっての参考にするため、とのこと。

■臨時休館に伴うスタッフ対応マニュアル

標記を作成し、スタッフ間で共有をした。（以後、適宜内容を更新した。）

1. 基本事項

《4月9日（木）》

■広報依頼の件

本日発行したメールマガジンに、「千葉市環境局環境保全部環境保全課」より依頼のあった「令和2年度千葉市地域環境保全自主活動事業補助金」の情報を掲載した。

《4月12日（日）・14日（火）》

■臨時の職員会議を実施

通常、第四水曜日に行っている職員会議を前倒しし、密集や密接を避けるという観点から、上記の2日間に分けて、少人数で開催した。

《4月17日（金）》

■館内放送の件

本日15時頃、館内（当施設内）に以下のような趣旨の放送が流れた。

「先ほど13階のEPS室から煙が出ました（出火しました）が、無事消火したのでご安心ください。」
消防車も出動したようだが、その後、防災センターからの連絡・報告等は一切なく、状況が不明であった。施設は休館中で利用者はいなかったが、利用者がいた場合のことも考え、防災センターに確認をとった。

→4月20日（月）に消防設備点検で来館した防災センターの職員に、当日の状況や対応について質問するも、詳しいことはわからないので、上に確認してから報告に来るとの回答。その日のうちに同じ職員が来館し、以下のような趣旨の説明を受けた。

「自動火災報知設備が稼働し、発報時は、出火階と直上階にのみ自動放送が流れた。その後、消火されなかったり、自動放送の解除がされたりしないと、10分後に全館放送が自動で流れるが、今回は10分以内に初期消火ができたので、自動放送は流れなかった。ただ、入居者から防災センターに問合せが殺到したので、全館に手動で案内放送を流した。」

《4月19日（日）》

■広報依頼の件

「千葉市都市局建築部住宅政策課」より依頼のあった「千葉市空家等活用・除却提案モデル事業（令和2年度）」の助成情報を、当ホームページに掲載した。後日、メールマガジン等でも発信を予定している。

《4月21日（火）》

■広報依頼の件

「美浜区地域振興課」より依頼のあった『令和2年度「追加募集」美浜区地域活性化支援事業』の助成情報を、当ホームページに掲載した。

1. 基本事項

《4月22日（水）》

■生涯現役応援センターより依頼（打合せ）

標記の施設より、主催事業への協力の依頼（相談）があり、打合せを実施。高齢者を対象とした企画で、当センターの登録団体から、ボランティアを受け入れていたりする団体をいくつか招き、両者をマッチングするような内容を考えているとのこと。団体を紹介してほしいが、その団体とのやりとりは先方が行うので、リストアップのみで構わないそうで、協力という形で連携することとした。なお事業の開催日は、8月31日（月）の予定。

《4月29日（水・祝）》

■談話室の椅子の不具合

談話室の椅子に、座面に不具合があるものがあつた。（座ると座面深く沈み込み、底が抜けそうな感じもする。）ひとまず撤去し、談話室のパーティション裏に移動した。

■新型コロナウイルス対応に関する Q&A サイトへの協力

「オンライン総会を開催したい」「事業報告書等の提出が間に合わない」などといった NPO 法人の疑問・質問に対する回答を Q&A 方式でまとめたサイトを、当センターの登録団体でもある「NPO 法人まつど NPO 協議会」と「認定 NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ」が、共同発信する形で開設。当センターも情報提供等で協力することとした。センターの HP (<http://chiba-npo.net/archives/7037/>) でもこのサイトを紹介した。

《4月30日（木）》

■環境総務課より問合せ

標記の課より、ちばさぼ PR 便について問合せあり。環境基本計画の周知及びアンケート実施のため、ちばさぼ PR 便を利用したいとの問合せ。発送時期や料金・支払先などについて伝えたところ、追ってまた連絡をいただけることになった。

《5月1日（金）》

■環境保全課からの協力依頼に対応

標記の課より、4/27 にメールで協力依頼のあつた「環境教育に係るアンケート」の実施について、メーリングリスト（地域・社会・参画の3分野）に回答依頼を発信した。環境教育基本方針の改定に取り組んでいるが、その参考にするためのアンケートである、とのこと。

《5月2日（土）》

■広報依頼の件

「中央区役所地域振興課」より依頼のあつた「令和2年度中央区地域活性化支援事業（追加募集）」の情報を、当ホームページに掲載した。

1. 基本事項

《5月6日（水・祝）》

■広報依頼の件

「フェアトレードちば」より依頼のあった「フェアトレードフェスタ2020」のオンラインイベントの情報を、当ホームページに掲載した。

■臨時休館の延長に関して

緊急事態宣言の期限が延長されたことを受け、当センターの臨時休館の期間を、5月31日までに延長することが決定。ただし今後の状況によっては、臨時休館の期間を短縮することもある。このことについて、当ホームページやメールリストでの周知や、施設入口付近への掲示などで案内した。また、5月31日までに施設利用予約が入っている団体には、順次、個別の連絡を行っていくこととした。

《5月7日（木）》

■広報依頼の件

「花見川区役所地域振興課」より依頼のあった「令和2年度花見川区地域活性化支援事業(追加募集)」の助成金情報を、当ホームページに掲載した。

■千葉市社会福祉協議会と打合せ

「ボランティア大学校（仮称）」の企画運営に関する相談のため、標記の職員が来所。ちなみに、10月頃から開講予定で、昨年度まで「ことぶき大学校」を運営していた千葉市社会福祉事業団と合併した千葉市社会福祉協議会が、「ボランティア大学校（仮称）」の企画運営を受託したとのこと。

《5月8日（金）》

■生涯現役応援センターと打合せ

標記施設の職員が来所。8/31に開催が予定されている、先方が主催のセミナーについての打合せ。具体的には、当センターの登録団体の中から、先方がセミナーに招きたい団体を抽出し、その団体の実状等についての質問に回答した。今後も、団体紹介の仲介などで協力を続けていく予定。(8/31のセミナーでは、当センターも施設紹介を行う予定。)

《5月13日（水）》

■市民自治推進課からの質問に対応

標記の課より、登録団体の中に、シングルマザーや一人親家庭の支援をしている団体はあるか、との問合せあり。明確に該当する団体を抽出した他、子育て支援や貧困家庭の支援等を行っている団体もあることを回答した。

《5月19日（火）》

■ホームページのSSL化

当センターホームページのSSL化が完了した。なおこれに伴い、ホームページのURLが「https://～」に変更となった。ちなみに「http://～」のままアクセスしても、自動的に新しいページに移動する。

1. 基本事項

《5月21日（木）》

■三井不動産ビルマネジメントより

室内の窓は、鍵の故障や事故防止の観点からメンテナンス専用とし、開閉禁止とする旨の通知が届いた。換気については、空調で外気を取入れ量を多くすることで対応するとの説明もあり。また、鍵の点検を6月上旬に行うとのこと。

《5月26日（火）》

■施設の再開について

緊急事態宣言の解除に伴い、当センターの臨時休館期間を短縮し、5月29日から再開することを決定。利用者に対しては、市のガイドラインに沿って、諸室の定員を2分の1程度にする、体調不良等の場合は利用の自粛をお願いする、マスクの着用をお願いする、などを周知する。また当センターとしても、定期的な館内の消毒を行う、職員の健康管理を行うなどを徹底する。これらを案内文書にまとめて、再開日のお知らせとともに、ホームページへの掲載、メーリングリストでの発信、施設入口付近への掲示などで、順次案内を行っていく。

《5月29日（金）》

■施設を再開

前日までの臨時休館を終えて、本日より施設を再開した。

《6月5日（金）》

■JICA 千葉デスクの職員が来所

担当者交替の挨拶と合わせて、相談のため来所。新型コロナウイルスの影響で一時帰国をしている、あるいは赴任地に行くことができなくなっている海外協力隊員の国内（千葉県内）でのボランティア活動等の受け入れ先を探している、といった内容。案内文を作成してもらい、後日、登録団体宛てにメールで発信することとした。

■千葉中央警察署の職員が来所

千葉中央警察署警備課の職員が来所。施設の利用状況などについての聞き取りと、団体情報の閲覧を実施。今後も、月一回程度訪問したいとのこと。

《6月6日（土）》

■広報依頼の件

「ちばのWA 地域づくり基金」から依頼のあった「新型コロナ対策緊急支援助成プログラム（第一次）」の助成情報を、当ホームページに掲載。

《6月10日（水）》

■当センターの利用案内をHPへ掲載

昨年度末に作成した「千葉市民活動支援センター利用案内」を、当ホームページに掲載。

1. 基本事項

《6月12日（金）》

■千葉県市民活動支援組織ネットワーク

標記組織の会合（2020年度第1回人財部会）に出席。

《6月15日（月）》

■窓のメンテナンス

防災センターによる、窓のメンテナンスを実施。一箇所、開けると閉めにくくなる窓があったが、修理の必要はないとのこと。

《6月16日（火）》

■市の備品の確認

市民自治推進課の職員が来所し、市の備品の確認を実施。

《6月17日（水）》

■市環境総務課から依頼

まだ相談といったレベルだが、千葉市環境総務課から、以下の三点の依頼あり。

1. 環境保全分野の団体リストの作成
2. メーリングリストでのアンケート配信
3. アンケート調査票の通信への折り込み

いずれも対応は可能である（3は有料となる）ことを伝えたところ、後日あらためて連絡がくることとなった。

《6月26日（金）》

■チーム千葉ボランティアネットワーク（web サイト）について

株式会社オニオン新聞社が千葉市と連携して開設している標記サイトに、当センターも「チャンネルオーナー」として、ボランティアに関するイベントや講座等の情報を投稿ができるようになっていたが、サイトをリニューアルし、利用方法が変わったとの連絡があった。不明点があったため問合せをしたところ、情報を様式に入力して事務局に送れば、事務局がアップする仕組みになったとのこと。

■新聞社からの問合せ

読売新聞千葉支局より、まちなかボランティア養成講座について問合せあり。かなり細かいことを聞かれたが、記事にするかなどは何も決まっていないようで、7月5日ではなく、それ以降の講義について、取材や案内記事の掲載について検討させてもらいたい、といった趣旨であった。

《6月30日（火）》

■千葉県市民活動支援組織ネットワーク

標記会議の会合（2020年度第1回幹事会）に出席。

1. 基本事項

《7月1日（水）》

■長時間の電話あり

「ちばさぼ通信を見て電話をしたが、どのようなことをやっている施設か？」といった問合せあり。簡単に説明したところ、「シニア向けにボランティア活動をしているが、依頼者に『無償が当たり前』という認識があり、どうかと思う」といった話や、今後の活動について考えていることなどを、30～40分間話された。（以前にもこういった内容の電話が2回ほどあったが、おそらく同じ人からと思われる。）

《7月8日（水）》

■市民自治推進課からの依頼に対応

市民自治推進課から依頼のあった、2019年度の会議室・談話室利用回数上位団体（10位まで）の集計を完了。メールで回答をした。

■富里市市民活動推進課より問合せ

標記の課より、今年度の市民活動フェスタの開催はどうする予定かとの問合せあり。

《7月9日（木）》

■とみさと市民活動サポートセンターより相談

当センターが主催する「オンライン会議初心者講座」と同内容の講座を、同じ講師に依頼して実施することになったが、講座の様子をオンラインで見学したいとのこと。見学という形は難しいが、キャンセル待ちで、一般の参加者と同じ形でなら受け付けることとし、その旨回答した。

《7月14日（火）》

■中央区地域振興課より問い合わせ

標記の課より、窓口に「炊き出しをやりたいので、ノウハウを教えてほしい」という方が相談に来ているが、そちらのセンターで対応は可能かとの問い合わせあり。登録団体で相談に対応できそうなどところがあるので連絡をしたところ、その団体から中央区地域振興課に連絡を入れてくれることになった。

《7月17日（金）》

■千葉県県民生活・文化課が来所

標記の職員3名が、県民活動推進計画の見直し、および新規事業の計画にあたっての意見聴取のために来所。

《7月20日（月）》

■千葉市環境総務課からの依頼へ対応

標記の課より複数の依頼があったが、そのうち（1）「環境保全を主として活動している団体」リストの作成（更新）について、対応を完了した。ちなみにここ数年間、毎年同様な依頼があり、対応をしている。

1. 基本事項

■野田市市民活動支援センターより問合せ

コロナ禍において、来館者に連絡先の提出や、団体に名簿の提出を義務付けているか、また、施設を再度休館にする予定はあるか、といった問合せがあり、回答した。

《7月21日（火）》

■新型コロナウイルス接触確認アプリの周知

標記について、市民自治推進課からの依頼を受けて、館内にチラシを掲示した。

《7月22日（水）》

■千葉市環境総務課からの依頼へ対応

複数あった依頼のうち、(2)「登録団体へのアンケート配信」について、地域分野のメーリングリストに発信した。

《7月27日（月）》

■市施設の爆破予告に係る対応について

市より標記の通知あり。予告内容は、「教育委員会に小型爆弾3個を仕掛けた」「爆破時刻は7月30日午後0時8分」とのこと。予告の日時までは、特に開館時・閉館時の施設内点検を十分に行うように。

《7月30日（木）》

■市民自治推進課からのメルマガ掲載希望に対応

標記について、本日発行のメルマガに記事を掲載した。

■広報依頼の件

「千葉市療育センターふれあいの家」より依頼のあった「手話講習会（初級）」の情報を、当ホームページに掲載。

《8月1日（土）》

■広報依頼の件

「千葉県福祉ふれあいプラザ」より依頼のあった「コミュニティカフェ開設講座」の情報を、当ホームページに掲載した。

《8月2日（日）》

■火災報知設備の誤作動

本日16時頃、火災報知設備が作動。その後、誤作動だった旨のアナウンス放送が流れた。また、防災センターから、「誤作動で、館内に異常はなかったのでご安心下さい」という旨の電話が入った。

1. 基本事項

《8月12日（水）》

■市環境総務課からの依頼に対応

標記の課より依頼を受けて、「次期環境基本計画に係るアンケート調査」を6分野のメーリングリストに発信した。

■入館者数のデータを修正

オンライン方式の講座等の参加者を入館者数にカウントすることとしたため、7月の該当する日の入館者数データを修正した。これに伴い、7月の月次報告書を差し替える。（市民自治推進課に確認済み）

■新型コロナウイルス陽性者発生の件

本日17時過ぎに、ファースト・ファシリティーズ千葉の職員が来所。「ビルの入居事務所の従業員1名が、新型コロナウイルス陽性判定を受けた」旨の説明があり、お知らせの文書を渡された。その後、市民自治推進課に電話で報告をした。

《8月13日（木）》

■「新型コロナウイルス週報」の掲示

市民自治推進課より、標記の紙資料（5枚）の掲出依頼あり。入口正面の掲示板に貼り出した。なお、毎週水曜日にメールで週報のデータが送られてくるので、木曜日の朝に貼り替えることとなった。

《8月14日（金）》

■山武市役所市民自治支援課からの問合せに対応

7月19日に開催された「市民活動交流サロン」に関して、同様な内容の企画をしているので参考にしたい、との問合せがあり、対応をした。

《8月20日（木）》

■市観光プロモーション課来所

標記の課の職員2名が、「千葉市習いごと応援キャンペーン」の周知への協力依頼のため来所。チラシの配架と、メーリングリストを用いた発信により、周知に協力することとした。

■広報依頼の件

「洲崎福祉財団」より依頼のあった「障害児・者に対する自立支援活動への助成募集」の情報を、当ホームページに掲載した。

《8月25日（火）》

■広報依頼の件

「千葉市療育センターふれあいの家」より依頼のあった「令和2年度 視覚障害者への音訳ボランティア講習会」の情報を、当ホームページに掲載した。

1. 基本事項

《8月27日（木）》

■新型コロナウイルス陽性者発生の件

本日10時過ぎに、ツインビル2号館管理組合の職員が来所。「ビルの入居事務所の従業員1名が、新型コロナウイルス陽性判定を受けた」旨の説明があり、お知らせの文書を渡された。その後、市民自治推進課に電話で報告をした。

■広報依頼の件

「千葉市マンション管理組合協議会」より依頼のあった「マンションの法律問題研修会」の情報を、当ホームページに掲載した。

《8月30日（日）》

■生涯学習センターの事業への協力

毎年協力をしている標記施設の事業「春からはじめるボランティア」が延期となっていたが、今年度は「秋からはじめるボランティア」として、11月21日（土）に開催されることが決定した。

《8月31日（月）》

■生涯現役応援センターの事業に協力

標記施設の主催で行われた事業「シニアから始めるボランティア相談会」に登壇。当センターの紹介を行ったり、参加者からの個別相談に応じたりした。

《9月1日（火）》

■広報依頼の件

「千葉県環境生活部県民生活・文化課」より依頼のあった「オンライン会議を体験してみよう！」の情報を、当ホームページに掲載。

《9月2日（水）》

■広報依頼の件

「千葉県環境生活部県民生活・文化課」より依頼のあった「プロボノ活用団体募集」の情報を、当ホームページに掲載。

《9月7日（月）》

■大学生からのヒアリング依頼に対応

大学生から、「市民の自立的なまちづくり活動をテーマにした研究を行っており、ヒアリングがしたい」と依頼があり、来所（対面）により対応した。

《9月16日（水）》

■千葉経済学園との連携について

ボランティア・市民活動マッチングプログラムの趣旨に合致したイベントを、千葉経済学園と共催で進める方向で話が進んでいたが、コロナ禍のため学園内で調整がつかず、今年度は共催によるイベントの開催を見送ることとなった。

1. 基本事項

《9月17日（木）》

■広報依頼の件

「千葉県環境生活部県民生活・文化課」より依頼のあった「寄付募集チラシ作りづくりのコツ」の情報を、当ホームページに掲載。

《9月23日（水）》

■空調のトラブルの件

9/18(金)より、天井裏の空調がトラブルによる停止と再稼働を繰り返していたが、本日、2台あるコンプレッサーが両方とも完全に故障したことが判明。また防災センターより、送風のみができる状態であるが、冷暖房は、窓際のファンコイル空調のみで行うことになると説明があった。なお、もともと不調だったため、来年度に機器を修繕する予定だったそうだが、対応について市で協議に入ること。

■新規団体登録の際の面談について

新規団体登録の際は、団体に必ず来所してもらい面談を行うことになっていたが、コロナ禍のため、リモートで対応してもらえないかと、登録希望団体より問合せあり。市民自治推進課に問い合わせたところ、団体登録要件の説明や、利用についての案内が問題なく行えるのであれば、Zoom などを用いたビデオ通話方式や、電話で対応しても構わない（ただしメールのみは不可）との回答があった。

《9月29日（火）》

■「さんむ市民活動フェスタ実行委員会」より依頼

標記の実行委員会の委員の方より、11/28 に開催予定のオンラインイベントで、「千葉市民活動フェスタ 2020」の取り組みについて、事例紹介という形で講話をしてもらえないかと依頼あり。依頼を受ける旨の回答をした。

《10月1日（木）》

■窓の応急工事を実施

内開き窓の一部について、落下防止のため、ビス固定・チェーンによる解放制限の工事が業者により行われた。

《10月3日（土）》

■広報依頼の件

「千葉市療育センター ふれあいの家」より依頼のあった「中級手話講習会」の情報を、当ホームページに掲載。

《10月12日（月）》

■美浜区地域振興課より依頼

標記の課の職員2名が来所。地域活性化支援事業のフォローアップ研修の講師の依頼とその打合せを実施。原田が対応。

1. 基本事項

《10月19日（月）》

■県立千葉中学校の教員と生徒が来所

標記の教員1名と生徒2名が来所。今後、学校としてボランティア活動を行おうとしているが、それにあたっての情報収集や相談に対応した。

《10月20日（火）》

■広報依頼の件

「千葉市国家戦略特区推進課」より依頼のあった「パラレルキャリア実践セミナー」と、「シェアエコはじめの一步セミナー」の情報を、当ホームページに掲載。

《10月21日（水）》

■広報依頼の件

「千葉市国家戦略特区推進課」より依頼のあった『「誰でも簡単！オンライン視聴にトライ」セミナー開催』、「ホームシェアホスト説明会開催」、「体験提供ホスト説明会開催」の3件の情報を、当ホームページに掲載。

《10月23日（金）》

■天井裏の空調の不具合確認

市民自治推進課や市の関係課の職員らが来所。天井裏の空調の不具合確認を実施。

《10月26日（月）》

■住宅政策課より問合せ

主催する「空家等セミナー」の案内記事を、メルマガやホームページに掲載してもらうことは可能かとの問合せ。可能である旨を回答し、フォーマット等を送付した。（翌27日に、掲載の依頼は取り下げることになった、との連絡あり。）

《10月30日（金）》

■オリンピック・パラリンピック振興課より依頼

標記の課の職員が、「チーム千葉ボランティアネットワーク」のポスターの掲示依頼のために来所。

《11月2日（月）》

■市国家戦略特区推進課のヒアリングに対応

標記の課の職員2名が来所。課として新規に、「クラウドファンディングで市民活動団体と学生をつなぐ」といった趣旨の事業を検討中で、その参考にしたいとのことで、ヒアリングに対応。

《11月10日（火）》

■広報依頼の件

「千葉市マンション管理組合協議会」より依頼のあった「マンションのトピックス研修会（第2回）」の情報を、当ホームページに掲載。

1. 基本事項

《11月16日（月）》

■コイン計数機について

市文化振興課より、コイン計数機を借りたいとの連絡あり。年に何回かこうした依頼があるが、取りに来ていただければ（事前に一報いただければ）いつでも構わないのでお貸しする、と対応。
→実際には、11/24に貸し出し、12/2に返却された。

《11月20日（金）》

■香取市市民活動支援センターより問合せ

標記施設の職員より、利用者協議会のメンバーに、当センター主催の講座等を案内したいが、市外の人でも参加できるか？と問合せあり。千葉市内在住・在勤等の人を優先する講座等もあるが、ほとんどは市外の人でも参加可能と回答。ただし、定員が少ない講座が多いので、利用者協議会としてまとまった人数で受講したい場合は、事前に相談いただきたいという旨も伝えた。

《11月25日（水）》

■市地域福祉課より問合せ

標記の課の職員より、会議室等の貸し出しルールや、予約方法について教えてほしいと問合せあり。所管している地域福祉交流館における施設の貸し出しの参考にしたいとのこと。

《11月28日（土）》

■「さんむ市民活動フェスタ実行委員会」からの依頼に対応

標記委員会より、委員会主催のオンライン講座で、千葉市民活動フェスタの取り組みについて講話をしてほしいとの依頼を受け、本日それに対応した。

《12月1日（火）》

■広報依頼の件

「洲崎福祉財団」より依頼のあった「障害児・者のQOL向上、社会課題の解決に寄与する事業への助成」の情報、および「中央区地域振興課」より依頼のあった「令和3年度みんなで創る中央区づくり」の情報を、当ホームページに掲載。

■ファシリテーションの講師紹介の依頼

「調布市市民活動支援センター」より、標記の依頼あり。過去に当センター主催の講座で依頼した講師を紹介した。

《12月2日（水）》

■広報依頼の件

「若葉区地域振興課」より依頼のあった「若葉区地域活性化支援事業」の情報、「6時の公共」より依頼のあった「ボードゲーム体験会」の情報、および「千葉市療育センターふれあいの家」より依頼のあった「令和2年度 点字講習会」の情報を、当ホームページに掲載。

1. 基本事項

《12月4日（金）》

■非接触型体温計の設置

標記について、入口付近（コピー機の横）に設置した。

■千葉中央ツインビル「緊急連絡システム」への登録

夜間や休日に全館停電や火災が発生した際に、テナントに緊急連絡メッセージ（メール）を配信するという標記のシステムに登録をした。

《12月7日（月）》

■千葉中央警察署警備課の職員が来所

これまでの担当者と、もう一名の職員とが来所。交代ではないが、今後はもう一名の職員が主担当になるとの事。

《12月8日（火）》

■市原市の経済振興事業協同組合より問合せ

標記組合の職員より、海外研修生のボランティア体験を受け入れてくれる団体はないか、といった問合せあり。車で連れて行くので、活動地域はどこでもよいとのこと。いくつか情報を提供した。

《12月15日（火）》

■広報依頼の件

「美浜区地域振興課」より依頼のあった「令和3年度 美浜区地域活性化支援事業」の助成情報を、当ホームページに掲載。

《12月17日（木）》

■市民自治推進課からの依頼に対応

12月24日から1月11日までの会議室と談話室の利用予定団体数および利用予定人数を教えてほしいと連絡があり、対応をした。また会議室・談話室の飲食のルールについての問合せにも回答した。

■施設の利用制限について

市民自治推進課より、新型コロナウイルス感染症の感染拡大局面に入ったと考えられることから、以下の利用制限を行うことになった旨の連絡があった。

○利用制限期間：12月26日（土）から令和3年1月11日（月）まで

○利用制限内容：

- ・会議室、談話室、印刷機及び紙折り機について、上記の期間中の新規利用予約の受付を停止する。
- ・館内での飲食は、水分補給を除いて不可とする。

《12月21日（月）》

■千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議に参加

標記会議の第2回研修会に、2名がオンライン参加した。

1. 基本事項

《12月24日（木）》

■利用制限期間内に予約をしている団体への連絡

標記について、利用するかどうかの確認の連絡を行った。（翌25日に、連絡の結果を市民自治推進課に報告した。）

《1月5日（火）》

■広報依頼の件

「NPO支援センターちば」より依頼のあった「パルシステム千葉コミュニティ活動助成基金」の情報を、当ホームページに掲載。

《1月7日（木）》

■広報依頼の件

「稲毛区役所地域振興課」より依頼のあった「令和3年度稲毛区地域活性化支援事業」の助成情報を、当ホームページに掲載。

《1月8日（金）》

■緊急事態宣言発令に伴う施設の利用制限について

標記について、市民自治推進課より以下（要約）のとおり決定した旨の連絡あり。

○期間：2021年1月8日（金）～2月7日（日）

○制限内容：(1) 18時以降は休館。(2) 館内での飲食は水分補給を除いて不可。

なお1月11日までは、既存の利用制限（会議室、談話室、印刷機、紙折機の新規の利用予約受付停止）も継続される。

■利用制限の周知等

上記の内容について、ホームページおよびFacebook ページへの記事掲載、全メーリングリストへの案内の発信、施設内や施設入口付近への案内の掲示を実施。また、休館となった日時に予約の入っている団体への個別連絡を、鋭意進めている。

《1月10日（日）》

■広報依頼の件

「花見川区役所地域振興課」より依頼のあった「令和3年度花見川区地域活性化支援事業」の助成情報を、当ホームページに掲載。

《1月12日（火）》

■広報依頼の件

「ちば市民活動・市民事業サポートクラブ（NPOクラブ）」より依頼のあった「With コロナでの市民活動を考えるオンラインセミナー」の情報を、当ホームページに掲載。

1. 基本事項

《1月13日（水）》

■広報依頼の件

「洲崎福祉財団」より依頼のあった「障害児・者に対する自立支援活動への助成募集」の情報掲載を、当ホームページに掲載。

《1月15日（金）》

■教育委員会より登録団体についての問合せ

ある登録団体が教育委員会に企画書を持参し、情報提供をしてほしいという依頼があったが、団体の実態がよくわからないので、企画書にある「千葉市民活動フェスタ 2020 に参加」という記載から、市民自治推進課への照会を経て、センターに問合せあり。登録団体情報にある、団体の活動目的と活動内容（公開情報）を先方に伝えた。

《1月16日（土）》

■広報依頼の件

「ちばのWA地域づくり基金」より依頼のあった「社会的養護下にある若者に対する社会包摂システム構築事業」の助成金情報を、当ホームページに掲載。

《1月19日（火）》

■メールによる調査依頼の対応について

1月18日（月）に、県より「体験活動ボランティア活動支援センター設置状況等について」という調査依頼のメールあり。所管課名や担当者を記入する欄があるので、市民自治推進課と連絡を取り、先方から回答をしてもらうことになった。

《1月21日（木）》

■防火対象物点検および防災管理点検実施

標記の点検を業者が実施。（費用が発生。）後日報告書が届けられるが、窓際のロールスクリーンに「防災ラベル」がついていないという指摘があった。

《1月22日（金）》

■船橋市市民協働課より問合せ

市民活動サポートセンターにカラープリンタを設置するので、カラー出力の料金や、パソコンとの接続ができるかなどを、参考に知りたいとの問合せあり。口頭で回答した。

《1月23日（土）》

■千葉県体験活動ボランティア活動支援センターより相談

標記施設より、「ちば活動ポートフォリオ」というものを作成したので、活用や広報に協力いただけないかと相談の電話あり。説明に伺いたいとのことで、対応する旨回答した。後日、候補日を連絡もらえることになっている。

1. 基本事項

《1月28日（木）》

■広報依頼の件

「千葉市住宅政策課」より依頼のあった「第6回空家等セミナー・相談会」の情報を、当ホームページに掲載。

《2月3日（水）》

■緊急事態宣言の発出期間延長に伴う施設の利用制限について

標記について、市民自治推進課より以下のとおり決定した旨の連絡あり。

○期間：緊急事態宣言が解除されるまでの間

○制限内容：(1)18時以降は休館。(2)館内での飲食は水分補給を除いて不可。

○その他：期間中は18時以降も（21時まで）職員は駐在し、電話対応を行う。

《2月5日（金）》

■千葉市住宅政策課からの広報依頼の件（中止に伴う取り下げ）

標記の依頼は、先方より、開催中止となったので取り下げてほしいという旨の連絡があり、対応をした。

《2月8日（月）》

■市民自治推進課からの問合せ（2件）に対応

新型コロナウイルスの影響で登録を抹消した団体が、2020年4月以降で何団体くらいあるかとの問合せあり。抹消届にその旨の記載がある団体が3団体あることと、補足として、記載がなくても少なからずコロナの影響があつて抹消した団体もあると考えられることを伝えた。また、1月末時点における、主たる活動分野が「災害救援」（5団体）および「中間支援」（13団体）の団体の情報を提供した。

《2月9日（火）》

■新型コロナウイルス感染拡大の影響に関するアンケート

登録団体を対象に、標記のアンケートを実施。施設内への調査票の配架、メーリングリストへの発信などにより回答を依頼。締切は2月21日とした。

■広報依頼の件

「NHK厚生文化事業団」より依頼のあった「わかば基金」の助成情報を、当ホームページに掲載。

《2月10日（水）》

■広報依頼の件

「千葉市マンション管理組合協議会」より依頼のあった「マンションの建築・設備問題研修会」の研修会の情報を、当ホームページに掲載。

1. 基本事項

《2月24日（水）》

■次年度の「NPO 法人を目指す方のための説明会」の件

市民自治推進課より、標記の説明会で使用するため、会議室の使用許可申請書4件を受理。9月以降の3件は一般の予約受付開始前だが、本申請は予約確定とする。

《3月4日（木）》

■彩の国市民活動サポートセンターより問合せ

標記施設の指定管理者である「公益財団法人いきいき埼玉」より、運営の参考にさせていただきたいと電話で問合せがあり、質問に答えるなどした。

《3月6日（土）》

■緊急事態宣言期間の再延長に伴う対応

緊急事態宣言の期間が3月21日（予定）まで再延長されたことに伴い、当センターは、以下の現行の利用制限の内容を、緊急事態宣言が解除されるまでの間、継続することとなった。

○制限内容：(1)18時以降は休館。(2)館内での飲食は水分補給を除いて不可。

○その他：期間中は18時以降も（21時まで）職員は駐在し、電話対応を行う。

《3月12日（金）》

■「自治会と市民活動団体の連携に関する調査」のアフターフォロー

市民自治推進課より、市民活動団体との連携に関心のある54の町内自治会に、「市民活動団体情報の送付について」という文書と、団体の基本情報などの資料が送られた。町内自治会から当センターに連絡や問合せが入る可能性もある。その場合は、日報に報告や申し送りを書くようにすること。

《3月13日（土）》

■停電発生

本日15時頃、停電が発生。（後に落雷によるものと判明）。すぐに復旧し、OA機器に異常が生じたりといったことはなかった。

《3月15日（月）》

■ビル内の多目的（多機能）トイレについて

利用者より、標記について前にも問合せをしたことがあるが、その後動きはあるか？と問合せあり。具体的な動きはないということと、同様な問合せや要望があるたびに、関係機関には伝えていると回答した。ちなみにその利用者は「クレームではない」とした上で、市民（利用者）の声を集めて要望をすることも考えているので、その際はまたお知らせする、と言っていた。

《3月19日（金）》

■緊急事態宣言解除に伴う対応

標記について、市民自治推進課より以下のとおり利用制限を緩和することが決定した旨の連絡あり。

○期間：3月21日から3月31日まで

○制限内容：(1)20時以降は休館。(2)館内での飲食は水分補給を除いて不可

1. 基本事項

《3月20日（土）》

■広報依頼の件

「千葉市療育センター ふれあいの家」より依頼のあった「要約筆記講習会」の記事を、当ホームページに掲載。

《3月25日（木）》

■相模原市からの視察に対応

相模原市市民局の局長以下3名が、センターの視察に来所。約30分、施設の機能の説明や、館内の案内などをした。

《3月26日（金）》

■利用制限の継続について

市民自治推進課より、現在の利用制限の内容を4月1日以降も継続。期間を「4月21日（水）」まで延長することが決まった旨の連絡あり。

(5) 取組目標に対する結果の報告

成果指標	設定した目標	実績値	達成率(%)
会議室利用件数（年間）	755	446	59.1
談話室利用件数（年間）	700	383	54.7
登録団体数（年度末時点での値）	735	769	104.6
施設利用者数（年間）	18,700	7,166	38.3
ボランティア募集情報掲出数（年間）	450	678	150.7
“まちなかボランティア” 養成人数（年間）	30	1	3.3
専門家による個別相談件数（年間）	80	27	33.8
総合達成率(%)	—	—	63.5

事業計画書に定めた成果指標と設定した目標、およびそれに対する実績値は上記のとおり。
以下、分析等について記す。

- ・多くの成果指標について、緊急事態宣言の発出に伴う臨時休館や、夜間の休館、外出自粛の影響等が顕著に現れ、達成率が100%を大きく下回るものが多くなった。
- ・「会議室利用件数」と「談話室利用件数」は、いずれも達成率は50%台となった。「施設利用者数」の達成率は約38%であったが、これらは根幹的な成果指標であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響を考えれば、やむを得ない値であると考えられる。
- ・「登録団体数」については、達成率は94.9%と極端に低い値ではないが、前年度比で34団体の純減となった。なおこれは、新型コロナウイルスの影響とは別の要因（全登録団体を対象にしたアンケート調査を行った過程で、既に解散していたり、活動を休止していたりする団体が多くあることが発覚したことの影響）と考えられる。
- ・「ボランティア募集情報掲出数」は、これまでどおり月単位で掲出されているものを「1件」と数えているが、目標値を大きく上回った。
- ・「まちなかボランティア」養成人数は、新型コロナウイルス対策のため、人と接する（会話する）ことが必須となる実習について、予定していた回数を実施できなかったことや、受講生も実習への参加を躊躇する人が多かったこともあり、達成率は非常に低くなってしまった。
- ・「専門家による個別相談件数」は、設定されている曜日・時間以外でも相談員の都合がつけば相談を実施することも検討するなどしたが、コロナ禍で活動を停止している団体も多いと思われ、申し込み件数は伸びず、達成率は30%台にとどまった。

(1) 使用許可受付関係

- ・使用許可の件数は1.基本事項の「(2)施設利用実績表」を参照。
- ・使用不許可処分の件数は 0件。

(2) 利用者要望・苦情への対応等

- ・「ご意見箱」を常時設置し、利用者からの要望や苦情の収集を行った。投稿があった場合は対応を検討し、必要に応じて対応内容・方針について、館内に掲示をすることとしている。（「ご意見箱」への投稿は、今年度は1件もなかった。）

(3) 利用者へのサービス向上、利用率向上の工夫

●4月

- ・新型コロナウイルスの影響で、総会の開催や組織運営について悩みや質問のある NPO 法人を対象にした Q&A サイトを登録団体が開設したが、それに情報提供等で協力をするとともに、当センターのホームページへの掲載や、メーリングリストへの案内による周知を行った。

●5月

- ・事業の内容に多少の変更があったことや、登録団体数のデータや地図が古くなったことなどから、施設案内のリーフレットの内容を改定し、4,000部を印刷した。
- ・「ちばさば通信」の発送先について、2020年5月号から、市内の各図書館（7箇所）を加えた。なお先方の希望により、中央図書館に一括して送付をする形をとる。

●6月

- ・今後開催を予定している講座等について、オンライン方式の導入を検討し、以下の4つについては、導入を決定した。なお(1)については、対面方式とオンライン方式の“複合開催”とし、オンライン参加ができない人にも配慮している。
 - (1) 助成金申請の基本とコツ講座（第1回市民活動ステップアップ講座）
 - (2) オンライン会議初心者講座（第2回市民活動ステップアップ講座）
 - (3) ファシリテーター養成講座
 - (4) 市民活動交流サロン
- ・昨年度末に作成した「千葉市民活動支援センター利用案内」を、当センターのホームページに掲載し、ダウンロードできるようにした。

●7月

- ・「専門家による個別相談」について、これまでは当センターを会場とし、対面方式により行っていたものを、希望により、メールやオンライン会議等による「遠隔方式」で行うことも検討することとし、チラシ等でその旨の案内を行っている。

2. 施設使用許可業務

●8月

- ・定員を設定している講座等のうち、オンライン方式で開催されるものについては、申し込みが定員に達した場合でも、円滑な運営に支障を来たさない範囲で定員以上の参加者を受け入れることも検討している。なお、参加者への事前連絡や、開催当日の“入室”の処理をする必要があることなどから、無制限に受け入れられるものではない。

●9月

- ・ホームページの「利用案内」のページに、センターの施設紹介リーフレットのPDFデータをアップロードした他、これまでトピックスの投稿記事からしか見られなかった「千葉市民活動支援センター利用案内」もアップロードした。
- ・新規団体登録の手続きの際、これまでは必ず団体の方に来所していただき、面談を行うことになっていたが、コロナ禍のため、リモート対応も可とするかどうかについて、市民自治推進課と協議を行った。Zoomなどを用いたオンライン会議や、電話での対応も可とする方向だが、オンライン会議については、先方の環境によって、また当方の職員の勤務体制などによっては実施が困難なこともあるので、明確な方針を出す際は、慎重に検討をしたい。

●10月

- ・「情報誌への折り込み（ちばさぼPR便）」の申し込み（封入物の持ち込み）は、原則として偶数月の28日を締め切りとしているが、情報誌の発送作業のスケジュール次第であるが、可能であれば締め切りを過ぎた場合でも受け付けている。

●11月

- ・市民活動フェスタの開催期間中（11月14・15日）に、「資料の配架」として配架した資料の残部を、当施設内（旧・千葉市観光協会への入口付近のパネル）に、特設コーナーのような形で掲示をし、当施設の利用者のみならず、同フロアの他の施設を訪れた人にも気軽に見てもらえるようにしている。

●12月

- ・市民活動団体の他、行政機関や助成金の募集元からのホームページ掲載依頼が多くあったが、登録団体と千葉市の行政機関からの依頼には、すべて対応した。
- ・天井裏の空調機（暖房）に不具合が生じており、館内が十分に暖かくなれない可能性もあるため、温度計を設置して定期的に室温を計測し、状況によっては利用者へのアナウンスや、対応策の実施を検討することとしている。

●1月

- ・緊急事態宣言の発出を受けて、1月8日から夜間（18時以降）は休館となったが、その直後は周知が届いていない人もいであろうことから、ロッカーの利用や使用許可申請書の提出に限り、もし来所者がいた場合は対応することとした。

2. 施設使用許可業務

- ・ 専門家による個別相談は、従来の開催時間が 18 時以降であり、夜間を休館としている間は実施ができないが、オンラインを活用することや、相談員の都合がつけば日中の時間帯に変更し、対面方式で開催するといった調整を行っている。

●2月

- ・ 施設案内のリーフレットや情報誌、事業のチラシを「ちばし地域づくり大学校」の受講生に配布している。
- ・ オンライン方式で開催する講座等の事業においては、リーフレット等の配布ができないため、口頭で施設の紹介や事業の案内等を行うようにしている。

●3月

- ・ 専門家による個別相談について、これまでも「NPO 運営・市民活動入門相談」は、申込者からの希望があれば、相談員と調整の上、所定の日時以外にも開催してきたが、今月は「行政書士相談」について、所定の日時以外に開催した。

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

(1) 受託事業報告

1	事業名	市民公益活動関連情報資料の収集・提供
実施概要		市民公益活動関連の各種情報や資料を収集し、広く来館者に対して掲示・設置する。
実施報告		<p>○随時収集・提供 年間 688 件の情報を館内にて掲示</p> <p>○助成金情報一覧を作成し提供:3回 5月、7月、11月</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集・提供できた情報は、前年度比およそ62%の減となった。新型コロナウイルスの影響により、活動の中止や自粛を余儀なくされた団体が多かったと推察される。

2	事業名	ボランティア情報の収集・管理・提供
実施概要		ボランティア活動をしようとする市民に対し、ボランティア関連の情報を収集し、館内への掲示などの方法により提供する。
実施報告		<p>○年間掲示数:678件</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティア募集カード」の依頼元に、掲載内容の変更、中止などがないかの確認作業を行い、情報の精度の維持を図った。 ・掲示の件数は、前年度(685件)とほぼ同数であった。

3	事業名	図書の収集・管理・活用
実施概要		広く来館者の利用を想定し、市民公益活動に関する図書を収集し、館内に配架する。
実施報告		<p>○新規購入図書:5冊 ※内、定期購読情報誌1種(隔月発行)</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の活動を考慮し、「動画作成」や「Zoomの基本」などの図書を購入した。 ・ちばさぼ通信に、購入図書の宣伝をする記事を掲載した。

4	事業名	情報誌の発行
実施概要		広く市民を対象に、情報誌(ニュースレター)を発行する。
実施報告		<p>○情報誌「ちばさぼ通信」発行:6回 5月号:5/7、7月号:6/30、9月号:9/4、11月号:11/4、1月号:12/28、3月号:3/3</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4判4頁フルカラー刷りで年6回発行。 ・部数は、新型コロナウイルスの影響で対面方式の事業が少なくなっており、配布の機会も減少していることから、3,300部から3,500部の間で調整した。 ・送付先として、千葉県内の市民活動支援施設7カ所を加増した。 ・ホームページには、過去の「ちばさぼ通信」を電子データで全て掲載している。

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

5	事業名	メールマガジンの配信
実施概要		登録団体及び希望する個人を対象に、メールマガジンの発行（電子メールによる情報提供）を行う。
実施報告		<p>○「ちばさぽ NEWS」(メール版)発行:24回 ○登録数:807件(3月末時点) 4/9、4/28、5/9、5/27、6/13、6/30、7/19、7/30、8/11、8/25、9/9、9/29、10/20、 11/1、11/19、12/5、12/15、12/22、1/13、1/30、2/13、2/27、3/9、3/23</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に2回程度、年間24回の発信を実施した。 ・対面の活動が制限される中、情報発信の重要性は増している。当センターの主催行事だけでなく、団体活動に有益と思われる情報や助成金などの情報を積極的に提供しよう努めた。

6	事業名	ホームページの運営
実施概要		広く市民を対象に、センターの施設紹介を主目的とするホームページを継続して運営する。
実施報告		<p>○通年実施</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターの全ての事業を網羅し、常時発信。 ・新型コロナウイルスの影響による、休館や閉館時刻の変更などについても、迅速に掲載の対応をした。 ・閲覧する側のことを考慮し、5/19にホームページのSSL化を完了した。 ・千葉市民活動フェスタの一部オンライン化に伴い、フェスタのコンテンツを大幅に加えた。

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

7	事業名	市民活動フェスタの開催
実施概要	既に市民公益活動に関わっている人・これから始めようとする人・今は関心のない人などあらゆる市民の他、企業なども含めた幅広い層を対象に、市民公益活動の周知、参加促進、交流などを目的としたイベントを開催する。	
実施報告	<p>○実行委員会：11回開催 実施日：7/7、7/21、8/4、8/18、8/26、9/8、10/6、10/20、11/10、11/24、12/8</p> <p>○参加団体説明会 実施日：9/13</p> <p>○「千葉市民活動フェスタ2020」実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン：特設ウェブサイト(11/8～12/6 公開、2/9～再公開) ・オフライン <ul style="list-style-type: none"> 団体紹介動画撮影会：千葉市民活動支援センター(10/18) 公開収録ステージ：千葉県教育会館大ホール(11/8) 資料の配架：きぼーるアトリウム(11/14～15) 千葉市民活動支援センター(11/14～15) インターネット放送局：きぼーるアトリウム(11/15) ・出展団体施設総数：67(登録団体：59、関係団体施設：8) ・来場者 <ul style="list-style-type: none"> オンライン <ul style="list-style-type: none"> 特設ウェブサイト総ページビュー：9997 ユーチューブチャンネル再生回数：1728 オフライン <ul style="list-style-type: none"> 公開収録ステージ(受付人数) 観覧者 83 名(事前申込 56 名、当日 27 名)、出演者 120 名 資料の配架(資料の配布数による) きぼーるアトリウム 166 名 千葉市民活動支援センター15 名 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員を5月に募集開始。上記のとおり実行委員会を合計11回開催。前年度の7回から大幅に増加した。 ・実行委員会は、オンラインと対面のどちらでも参加できるハイブリッド式で開催した。 ・コロナ禍ということを考慮し、実行委員会で十分な協議を行い、例年通りきぼーるアトリウムは使用するが、人を集めるものではなくオンラインを主軸に展開した。 ・ステージは、千葉県教育会館で収録したものをインターネット(YouTube)で発信、11/15の「インターネット放送局」では、生配信も行った。 ・11月14日・15日の両日は、市民活動団体のリーフレット等の配架も実施した。 ・参加団体の紹介は、オンラインでの発信を推奨し、動画の作成などをサポートした。 ・ホームページの総PV数、YouTubeチャンネルの再生回数は上記のとおりだが、広報に関してはまだまだ検討の余地があると思われる。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

8	事業名	市民活動交流サロン
実施概要	登録団体や市民活動に関心のある個人・企業・学生など、様々な立場の人を対象にした、サロン風の集まり（交流会）を開催する。	
実施報告	<p>○第1回:「オンライン市民活動交流サロン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン(Zoom) ・実施日:7/19 ・参加者:10名 <p>○第2回:「センター長対談～今だからこそ、市民活動！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン(Facebook LIVE) ・実施日:9/19 ・参加者:30名 ・再生回数:約570回 <p>○第3回:「センター長対談 part2～障害・難病を知ろう！～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン(Facebook LIVE) ・実施日:2/23 ・参加者:15名 ・再生回数:約890回 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策の観点から、オンライン方式で開催した。第1回は、全員がZoomミーティングに参加する形とした。第2回と3回は、主催者とゲストがZoomミーティングに参加し、ゲストからの活動紹介や対談を行い、その様子(動画)をFacebook Liveで配信する形とした。動画は開催後も公開している。 ・公開した動画の再生回数は予想以上に多く、市民活動のことを広く市民に知ってもらうという効果は大きいと感じている。 	

9	事業名	千葉市を元気にするフォーラム
実施概要	一般の市民・団体などを対象に、千葉市を元気にし、より魅力的にすることをめざして、フォーラムを実施する。行政の参加も検討し、市民との協働をはかる。	
実施報告	<p>○タイトル:「団体のチャレンジが地域をワクワクさせる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン(Facebook LIVE) ・実施日:1/23 ・参加者:10名 ・再生回数:約700回 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Facebook ページ上に動画を配信する形で実施。終了後も動画を公開し、開催から1ヶ月弱で、再生回数が700に達するなどの成果があった。 ・内容は、登録団体を含めて5つの団体をインタビュー形式で紹介したもの。女性支援、子ども支援、地域支援、若者支援など、広いジャンルの団体が集まった。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

10	事業名	まちなかボランティア養成講座
実施概要	2021年の東京オリンピック・パラリンピック開催を視野に、関心のある方々を対象に、主に“まちなか”で来街者に案内などをするボランティアの養成講座を開催する。	
実施報告	<p>○講義</p> <p>第1回(通算 13 回)講義 実施日:7/5 ・参加者:9 名 ・場所:YSビル 5階 多目的室</p> <p>第2回(通算 14 回)講義 実施日:10/3 ・参加者:10 名 ・場所:幕張公民館</p> <p>第3回(通算 15 回)講義 実施日:12/6 ・参加者:8 名 ・場所:都賀コミュニティセンター 第2・3講習室</p> <p>第4回(通算 16 回)講義 実施日:2/7 ・参加者:19 名 ・場所:千葉商工会議所 12階 研修室A</p> <p>○実習</p> <p>第1回(通算 22 回)実習 実施日:7/11 ・参加者:4 名 ・場所:中央公園(「千葉ハワイアンマーケット(1 日目)」会場)</p> <p>第2回(通算 23 回)実習 実施日:7/12 ・参加者:2 名 ・場所:中央公園(「千葉ハワイアンマーケット(2 日目)」会場)</p> <p>第3回(通算 24 回)実習 実施日:7/26(中止) ・場所:千葉銀座通り(「いい街ちばフリーマーケット」会場)</p> <p>第4回(通算 25 回)実習 実施日:8/30(中止) ・場所:千葉銀座通り(「いい街ちばフリーマーケット」会場)</p> <p>第5回(通算 26 回)実習 実施日:10/10(中止) ・場所:中央公園(「第2回千葉ハワイアンマーケット2020(1 日目)」会場)</p> <p>第6回(通算 27 回)実習 実施日:10/11(中止) ・場所:中央公園(「第2回千葉ハワイアンマーケット2020(2 日目)」会場)</p> <p>第7回(通算 28 回)実習 実施日:10/18 ・参加者:4 名 ・場所:千葉市中央公園・千葉銀座通り・きぼーるアトリウム(「大道芸フェスティバルinちば2020」)</p> <p>第8回(通算 29 回)実習 実施日:10/31 ・参加者:3 名 ・場所:中央公園(「第3回千葉ハワイアンマーケット(1 日目)」会場)</p> <p>第9回(通算 30 回)実習 実施日:11/1(中止) ・場所:中央公園(「第3回千葉ハワイアンマーケット(2 日目)」会場)</p> <p>○2020 年度修了者数:1 名(2017 年度からの累積修了者数:78 名)</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年 4 回の講義は予定どおり開催できた。 ・新型コロナウイルス対策として、消毒・検温などの対策を実施。密を避けて定員を少なく設定した関係から、4 回の講義の参加人数の平均は 11.5 人と前年を下回った。 ・実習については、今年度多数のイベントが中止となって、実施が困難となった。特に年度の後半は実習に適したイベントがほとんど開催されない状況となり、修了者は 1 名にとどまった。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

11	事業名	ファシリテーター養成講座
実施概要	市民団体・グループなどを含む一般の市民を対象に、会議や話し合いを円滑にするためのファシリテーターの技能を学ぶ講座を開催する。	
実施報告	<p>○タイトル:Zoomで開催!ファシリテーター養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン(Zoom) ・実施日:9/14 ・参加者:28名 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Zoomを利用したオンライン方式による講座とした。どのくらいの参加者が集まるか心配したが、通常の定員以上となった。「短い時間に、こんなに学びがあるとは驚いた」など好評であった。 	

12	事業名	地域コーディネーター養成講座
実施概要	地域において調整役を担っている方やこれから調整役になりたいと考えている方など、コミュニティづくりに関心のあるあらゆる人を対象に、地域の課題解決や活性化に向けて調整を進めていく“地域コーディネーター”を養成する講座を開催する。	
実施報告	<p>○タイトル:コミュニティづくりコーディネート講座 ～オンラインも活用した地域コミュニティづくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン(※「Zoom ミーティング」を利用。講師は来場。) ・実施日:3/14 ・参加者:7名 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は開催準備を進めていたが中止を決定したこともあり、今年度も同じ講師に依頼をした。 ・開催方式はオンラインとしたが、講師にはセンターに来場いただいたことで、スムーズな運営ができた。 ・内容は、コロナ禍を意識したものにした。自治会関係者が関心を持ちそうな内容に特化することもできそうで、そうすることで多くの参加者が集められるのではないかと感じた。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

13	事業名	市民活動ステップアップ講座
	実施概要	市民活動団体の組織運営に従事している（またはこれから従事しようとしている）人や、関心のある人を対象に、組織運営に必要な、専門性のある分野の知識やスキルを身につけることを目的とした講座を開催する。
	実施報告	<p>○第1回タイトル:助成金申請の基本とコツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンラインおよび千葉市民活動支援センター会議室 ・実施日:7/23 ・参加者:18名(オンライン16名、対面2名) <p>○第2回タイトル:オンライン会議初心者講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン ・実施日:8/3 ・参加者:17名 <p>○第3回タイトル:団体の資金調達を考える～寄付集めの重要ポイント大公開!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンラインおよび千葉市民活動支援センター会議室 ・実施日:12/11 ・参加者:23名(オンライン17名、対面6名) <p>○第4回タイトル:オンライン時代の広報(PR)を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン ・実施日:2/1 ・参加者:19名 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4回のうち2回はオンライン方式のみでの開催、2回はオンラインと対面の複合方式とした。コロナ禍ではあるが、対面のニーズもあることがわかった。 ・第3回は初めての講師に依頼をしたが、参加者の満足度は高かった。第4回は、昨年度好評だった講師に再度依頼をしたが、今回も満足度は高かった。

14	事業名	話し方実践講座／プレゼンテーション講座
	実施概要	市民団体・グループなどを含む一般の市民を対象に、市民活動や地域活動を行う上で必要となる話し方やプレゼンテーションの方法を学ぶ実践講座を、2回開催する。
	実施報告	<p>○話し方実践講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン(Zoom) ・実施日:2/13 ・参加者:23名 <p>○プレゼンテーション講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン(Zoom) ・実施日:10/26 ・参加者:22名 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話し方実践講座」は、応募者が定員の3倍となったが、発表を考慮して、23名に絞り実施。3回のワークセッションで、参加者が「話し方のコツ」を習得していく過程を互いに感じられたことが成果であった。 ・「プレゼンテーション講座」は、予定の講師が急遽、変更となったが、迅速に対応を行い、無事開催できた。「演習が多く、楽しかった」という半面、質疑応答の時間がなくなったことが反省材料である。

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

15	事業名	ボランティア・市民活動マッチングプログラム
実施概要	ボランティアをしたい人・市民活動に参加したい人（希望者）と、それを受け入れる市民活動団体（受入団体）とをマッチングするプログラム。両者が直接顔を合わせる場（マッチングイベント）を設けて、「活動体験」に結び付けてもらうことをねらいとする。	
実施報告	<p>○次年度に行う「マッチングカタログ（仮称）」の作成に向けて、登録団体へ案内開始。</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア等の希望者と、その受入団体が直接顔を合わせる場を設けることを前提とした企画だったため、新型コロナウイルスの終息を見極めながら実施内容を検討したが、実質的にほぼ動きはとれなかった。 ・次年度に向けた準備（次年度にまたがる取組）を行うこととし、「マッチングカタログ（仮称）」の作成に向けた準備（登録団体への案内）のみを行った。 	

16	事業名	サポーターの募集・育成
実施概要	ボランティア活動をしたい人を対象に、センターの事業のサポートなどの活動をしていただくボランティア（呼称：センターサポーター）を募集、活動の場を提供する。	
実施報告	<p>○コロナ禍のため活動休止</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、サポーターに通信発送などのお手伝いの声かけはできず、センターの講座への参加の呼びかけなどをした。年度末にはあいさつ文を送り、次年度につなげた。 	

17	事業名	多様な主体との連携づくり
実施概要	市民活動団体の活動がより活性化するよう、またよりよい地域社会づくりが進むよう、センターとして、学校や企業など、多様な主体との連携を進める取組（日常的な交流や意見交換会など）を行う。	
実施報告	<p>○千葉市社会福祉協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標記の組織が受託した「ちばし地域づくり大学校」について、講師を紹介してほしいといった相談があり、3名の講師を紹介した。 <p>○他の市民活動団体等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月、3月にNPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブからの呼びかけで、「県内の多様な主体による災害対応ネットワークづくりに向けて」をテーマとした、コアメンバー会議に参加した。 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事業への協力のみならず、会議への参加など、これまでなかった形の連携の取組を行うことができた。 ・事業 No.15 とも深く関連するが、大学・短大・高校を設置している学校法人との連携づくりに、前年度より継続して取り組んだ。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

18	事業名	ボランティア募集情報提供施設との連携づくり
	実施概要	ボランティア活動を活性化させることを目的に、千葉市でボランティア募集情報の提供をしている公的施設と当センターとの間で、日常的な情報交換や事業協力を行う。
	実施報告	<p>○千葉市生涯学習センターとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉市生涯学習センターのイベント「秋からはじめるボランティア！身近な5施設活用術」(11/21 開催)にて、当センターの事業紹介等を実施。 ・生涯学習ボランティアフェア2020にて展示。 期間: 11/21(土)～11/29(日) <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動フェスタの新たな試みとして、資料の閲覧コーナーが設置されたが、ここに千葉市国際交流協会、ちば生涯学習ボランティアセンター、千葉市ボランティアセンター等の資料を、一括して掲出することができた。
19	事業名	市民活動伝言板の設置
	実施概要	市民活動団体が、団体の活動やボランティア等に関する情報や伝言を掲示することができ、来館者に閲覧してもらえる「伝言板」を、館内に設置する。掲示できるものについてはルールを定める。
	実施報告	<p>○通年実施</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年の集中豪雨による被害などの際に、救援活動を実施した団体にもらった報告を元に、活動内容をまとめ、団体の確認を得て掲示するなどした。
20	事業名	メーリングリストの運営
	実施概要	登録団体間の交流や情報交換を促進するため、登録団体自らが自由に発信をすることができるメーリングリストの管理運営をする。
	実施報告	<p>○通年実施</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6つの分野、6つの区ごとのメーリングリスト(ML)の管理・運営を継続して行っている。新規団体登録時にMLへの加入の確認を行っているが、その後の追加希望も受けている。
21	事業名	複数団体の連携の推進・支援
	実施概要	複数の登録団体等が連携し、共通のテーマのもとに自主的に活動をする「活動部会」と呼ぶ枠組みを設置。部会の立ち上げを推進するとともに、広報面や連携の推進等の支援をセンターが行う。
	実施報告	<p>○以下の4つの部会が活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちばの空襲と戦争体験を語り継ぐ ・フェアトレードちば ・かがやき ・「千葉いちばん音頭」普及委員会 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つの部会の申請があった。うち3つは、コロナ禍ではあるが、それぞれオンライン、HP上などでの発表等の活動を実施。他の1つは、事情により連携を解消したという報告があったが、呼びかけ団体によると、今後も連携できる団体があれば、再度部会の申請を考えたいとのことだった。

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

22	事業名	日常的な相談
実施概要	広く一般市民や市民活動団体などからの市民公益活動に関する相談に、センターの開館時間中、随時対応するもの。	
実施報告	<p>○実施件数:145件</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <p>・前年度比で相談件数は約4分の3に減少したが、コロナ禍にも関わらず、ボランティア活動に参加したいといった内容や、団体を立ち上げたいといった相談が多くあった。</p>	

23	事業名	専門家による個別相談
実施概要	市民公益活動を行っている個人や団体、これから始めようとする市民、社会貢献活動に関心のある企業など幅広い層を対象に、市民公益活動に関する専門的なテーマを設定し、予約制で専門家が対応する個別相談を実施する。	
実施報告	<p>○実施件数:27件(内訳は下記の通り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税理士:6件 ・行政書士:4件 ・NPO運営・市民活動入門:9件 ・インターネット活用:7件 ・広報:1件 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <p>・前年度比で相談件数は約3分の2に減少した。分野ごとに開催日時が限定されているため、希望の相談を受けられないケースもあり、その場合は相談員に連絡をし、設定されている日時以外に開催できないか、調整をするようにしている。</p>	

24	事業名	施設のPR
実施概要	広く一般市民（特に市民公益活動に今は関心がない人）やセンターを初めて利用する人を対象に、リーフレット等のセンターを紹介するツールを作成、配布し、施設をPRする。これらのツールを用いてセンター外での周知活動も行い、施設の利用促進を図る。	
実施報告	<p>○「いい街ちばフリーマーケット」にて、通信、チラシの配架</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:千葉銀座通り及びその周辺 ・実施日:8/30、9/27、10/18、11/22、12/27 <p>○区民まつり等に出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定していた「第28回 美浜区民フェスティバル」「第28回 若葉区民まつり」は開催中止となったため、出店せず。 <p>○そごう千葉店地下ギャラリーにておこなわれた「消費者教育ポスター展示」で、リーフレットを配架</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間:11/10～11/16 <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民まつり等は6区とも中止となったため、今年度は会場でのPRは断念せざるを得なかった。 ・公民館やコミュニティセンターには、通常どおり「ちばさぼ通信」と共に各種情報も折り込んで送付している。 ・スタッフが講座などに参加する際は、リーフレット等を持参、配布をお願いしている。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

25	事業名	登録団体の企画支援
実施概要	団体の活動の活性化を目的に、登録団体がセンターを会場にして行う講座や相談等の企画を募集。公益性が高いかどうかなどの基準で審査を行い、採択したものを「ちばさぼセミナー」と認定。センターは、会議室の優先貸し出しや、広報面の支援を行うもの。	
実施報告	<p>2団体の企画を「ちばさぼセミナー」として実施</p> <p>○実施団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7 colors of LIFE ・千葉終活支援ネット <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大状況を見極めながら募集要項を検討したこともあり、募集開始が例年より遅い9月になってしまったが、2団体(企画)の応募があり、いずれも認定をして支援を行った。 	
26	事業名	セルフカフェコーナーの設置
実施概要	施設利用者を対象に、コーヒー、お茶等の飲料を、無償で、セルフサービスにより提供する。	
実施報告	<p>○コロナ禍のため設置中止</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、カフェコーナーは年間を通して休止とした。 	
27	事業名	シニア世代の地域活動促進事業
実施概要	シニア世代を対象に、地域活動（ボランティアやNPO・町内自治会活動など）への参加を促進するための講座を実施する。またシニアを対象とした施設との連携も図る。	
実施報告	<p>○講座</p> <p>タイトル:シニア世代の地域活動促進セミナー ～地域でイキイキ～自分再発見セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所:オンライン ・実施日:11/30 ・参加者:12名 <p>○シニア対象施設との連携</p> <p>千葉市生涯現役応援センターのセミナー「シニアから始めるボランティア(8/31)」に協力。</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座は、Zoom を利用したオンライン方式で実施。グループワークと「自己再発見」の部分の時間を長くするなどし、好評であった。 ・講座以外では、生涯現役応援センターとの連携は引き続き強め、緊密な情報交換や、お互いの依頼対応を行うなどした。なお、千葉県生涯大学校は前年度は休校、またこれまで連携をしていたことぶき大学校は閉校となった。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

28	事業名	運営協議会の設置・運営
実施概要	センターを利用者にとって有益な施設とするため、利用者の立場から助言をいただく運営協議会を設置。センターは事務局として会の運営をする。委員は、登録団体の構成員から公募する。	
実施報告	<p>○運営協議会(定例会):5回(内、1回中止)実施 実施日:7/16、9/17、11/19、1/21(※開催中止)、3/25</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8名の委員により運営協議会を構成し、年間5回の定例会を開催する計画とした。 ・コロナ禍を踏まえ、対面とオンラインの複合方式としたが、緊急事態宣言の発令に伴い、1月に予定していた第4回はやむなく中止、また最終回は開催日時を変更し、3月の日中に開催した。 	

29	事業名	「NPO 法人を目指す方のための説明会」参加申込受付業務
実施概要	千葉市・千葉県が主催する「NPO 法人を目指す方のための説明会」の参加申込受付業務を行う。	
実施報告	<p>通年実施</p> <p>【成果・課題・特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特にトラブルや問題もなく、受付業務を遂行できた。 	

3. 市民公益活動促進事業に関する報告

(2) 自主事業報告

30	事業名	情報誌への折り込み
実施概要	センターの情報誌を登録団体や公共施設等に郵送する際に、登録団体や企業などの印刷物を、有料で折り込む（同封する）サービスを実施する。本サービスの通称を「ちばさぼPR便」とする。	
実施報告	<p>○年間利用数:18件 A4サイズ以内の印刷物1種を1枚同封につき、登録団体は、2,000円。企業は、8,000円。公共施設等に5枚を追加で同封する場合は、プラス2,000円。</p> <p>【成果・課題・特記事項】 ・新型コロナウイルスの影響で活動を自粛した団体が多かったと推察され、そのため利用件数は前年度の4割弱にとどまったが、毎号利用している団体もある。</p>	
31	事業名	印刷機の貸出
実施概要	登録団体に、感光式孔版印刷機を有料で貸し出すサービスを実施する。	
実施報告	<p>○利用件数:220件</p> <p>【成果・課題・特記事項】 ・新型コロナウイルスの影響で活動を自粛した団体が多かったと推察され、利用件数は前年度の5割弱となった。</p>	
32	事業名	カラーコピー機の設定
実施概要	登録団体に限らず、来館者が誰でも自由に利用できるカラーコピー機（有料）を設置する。	
実施報告	<p>通年実施 （モノクロコピー:全サイズ(A4、B4、A3)1枚10円、カラーコピー:A4サイズ1枚30円、B4・A3サイズ1枚50円。）</p> <p>【成果・課題・特記事項】 ・外部(文化センターの会議室利用者など)にも知られ、利用してもらっているが、諸般の活動の自粛や減少により、全体の利用数は低下している。</p>	
33	事業名	飲料・消耗品類の販売
実施概要	施設利用者に対し、飲料や消耗品類を販売するサービスを実施する。	
実施報告	<p>通年実施 （飲料80円、A4白コピー用紙500枚400円、A3白コピー用紙500枚800円など。）</p> <p>【成果・課題・特記事項】 ・常温のボトル飲料(水・茶)のみに限定して販売した。小型のボトルにしたことで、特に女性には好評であった。 ・領収証が発行できることから、文化センターの会議室利用者の購入もある。</p>	

4. 施設維持管理業務の実施報告

・保守管理業務

空調設備・消防設備・その他（殺虫・防鼠）は、年間契約で三井不動産株式会社に委託

・清掃業務

日常清掃は、スタッフが実施
定期ワックス塗布は、ファースト・ファシリティーズ株式会社に委託

・警備業務

ツインビル防災センターを通じて、三井不動産株式会社に委託
防火防災管理も同様に委託

・設備機器管理業務

定期エアコン点検・自動ドアは、三井不動産株式会社に委託

・備品等保守管理業務

印刷機に異常があれば、チバビジネス株式会社に連絡
カラーコピー機に異常があれば、株式会社文化堂に連絡

・修繕業務

5月 照明器具（一灯式 19箇所）のLED化を実施

・その他

特段の報告事項はなし

(1) モニタリングの実施状況、分析結果

■ご意見箱 年間の投書は0件

■利用者アンケート（全2回）実施

●2020年度 第1回利用者アンケート

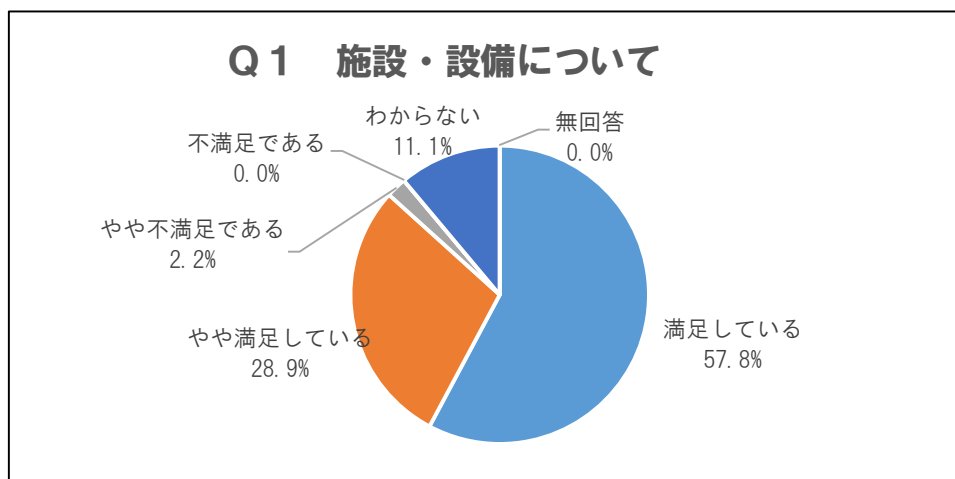
- ・実施期間：2020年9月1日～9月30日
- ・回答数：90件（うち、webからの回答は44件）

※登録団体へ郵送、センター来館者へ手渡し、ホームページ・facebook ページへの掲載、メールリングリストへの発信により回答を依頼。調査票にQRコードを載せて、ホームページから回答がしやすいようにした。

◇集計結果の報告

Q1. 千葉市民活動支援センター（以下、センター）の『施設・設備』についてお伺いします。全体的な満足度について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。

※『施設・設備』とは、「会議室、談話室、印刷機、紙折機、ロッカー、活動サロン、セルフカフェコーナー」などを指します。



*自由記述の主な内容

[評価・謝辞等]

- ・会議室等が無料で利用できる・土日も開館しているといったサービスがありがたい。
- ・駅に近く、他施設と比べると設備も充実している。
- ・印刷機を急に使うこともできる（手続きも面倒でない）ので助かる。
- ・小規模の打合せには十分で、快適である。

[意見・要望等]

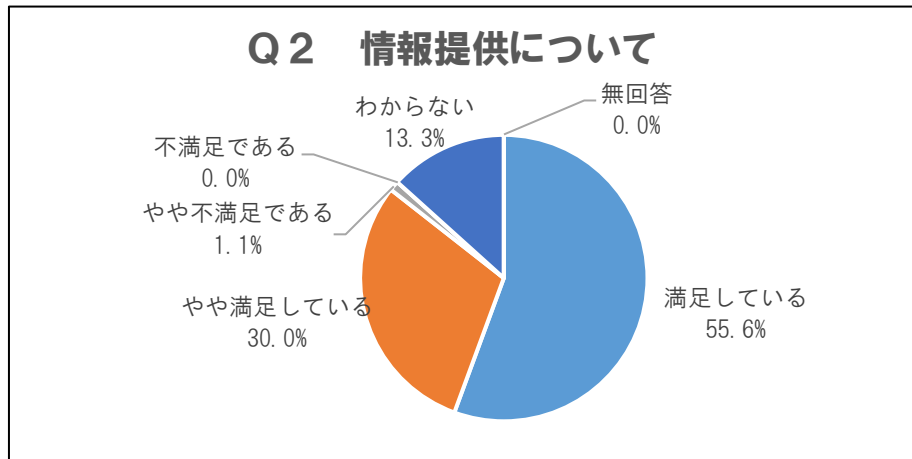
- ・もっと広い部屋（ワークショップができるような部屋）がほしい。
- ・サロンがもう少し広いと交流を促せると思う。（作業スペースがもう少し広いと便利。）
- ・印刷機の音が大きく、時には騒音に感じることがある。

5. 経営管理業務

- ・土日など（必要な時に）会議室等の予約がとれないことが多い。
- ・無線 LAN が 10 人くらいで同時に使えるとありがたい。

Q2. センターの『情報提供』について、お伺いします。全体的な満足度について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。

※『情報提供』とは、「イベント・講座等のチラシの配架、ボランティア募集情報の掲示、ニューズレター（ちばさぼ通信）の発行、ホームページ、図書コーナー」などを指します。



* 自由記述の主な内容

[評価・謝辞等]

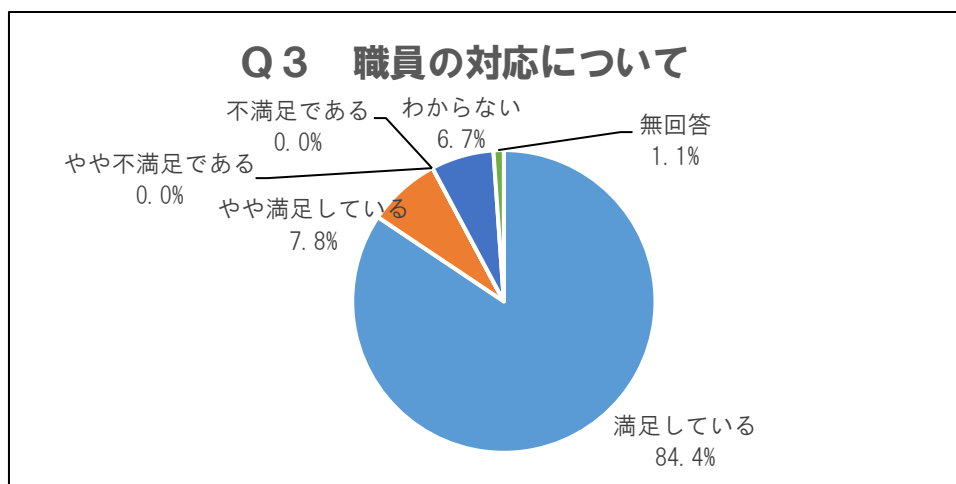
- ・メールでの情報提供はタイムリーで、有益である。
- ・「ちばさぼ通信」の発行やメールでの連絡が密で、情報共有をしていると感じられる。
- ・「ちばさぼ通信」が楽しみ。無料で送付していただき、ありがたい。
- ・センターには多くの団体のチラシなどがあり、知ることができて参考になる。
- ・web と郵送の両方で定期的に情報提供がされ、助かっている。

[意見・要望等]

- ・「ちばさぼ通信」は郵送でなく、メールでもよいと思う。
- ・利用方法などがわからず、対応に困ることがある。マニュアルがあれば提供してほしい。

Q3. センターや職員の『対応』について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。

※電話・メールでの問合せへの対応、来館時の接客などについてお聞かせください。



* 自由記述の主な内容

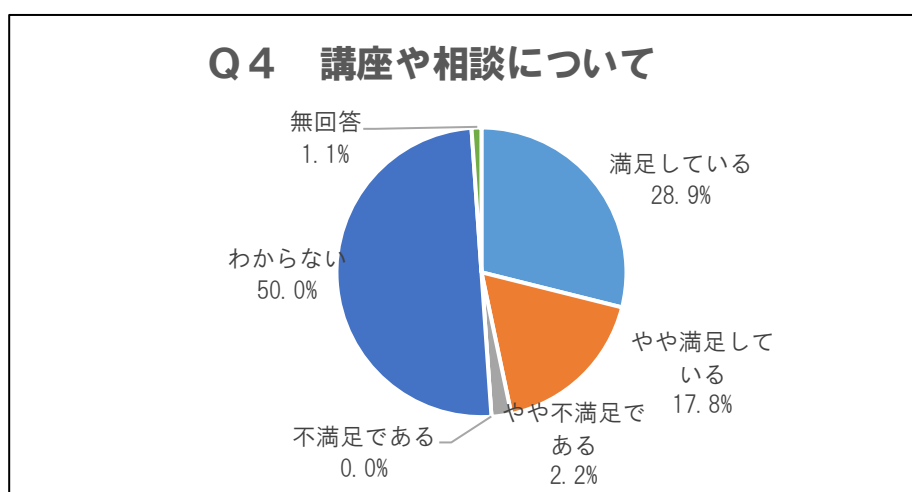
[評価・謝辞等]

- ・対応がいつもとても丁寧で感じがよい。
- ・皆さん非常に親切。(わからないことも快く教えてくれる。)
- ・キャンセル時や時間延長に対しても細やかな対応で、感謝している。
- ・電話、メールでの対応も的確である。
- ・落ち着いていて、安心できる。

[意見・要望等]

- ・職員の負担が大きいように思う。

Q4. センターの『講座や相談』について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。



* 自由記述の主な内容

[評価・謝辞等]

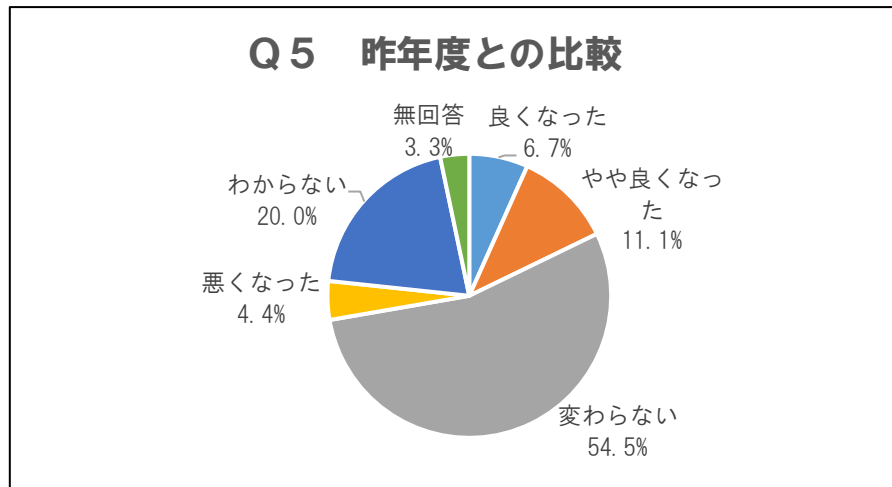
- ・オンライン会議ツールに関する講座は勉強になった。
- ・助成金講座は参考になり、実際に助成金に応募して獲得することができた。
- ・チラシづくり講座はとても参考になった。活動拡大のノウハウを学べる講座の拡充を望む。
- ・話し方講座は良かった。
- ・参加することは少ないが、常に利用者のためになることを、という考えが伝わってくる。

[意見・要望等]

- ・今後もオンラインを活用する機会が増えると思うので、関連する講座を開催してほしい。
- ・コロナ禍では対面方式のイベントには参加したくない。オンライン方式がありがたい。
- ・今年はマッチングプログラムが中止になったが、この事業を充実させてほしいと思う。
- ・登録団体が主催する講座など、センターの事業に取り入れていただけたらと思う。
- ・特定の日を決めるのではなく、予約制で相談が利用できるとよい。

5. 経営管理業務

Q5. 昨年度と今年度を比較して、どのようにお感じでしょうか。最も当てはまるもの1つに○をつけてください。ご意見・ご感想などもあわせてお聞かせください。



* 自由記述の主な内容

[評価・謝辞等]

- ・使い勝手等は、良い意味で昨年度と変わらない。
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、これまでとの比較はしづらい。
- ・コロナウイルス対策は、スピード感もあり、またきちんとやっていると思う。
- ・利用や参加がなかなかできないが、昨年度にも増して充実していると思う。

[意見・要望等]

- ・コロナ禍であるからこそ、市民活動は活発にすべきと思う。動きにくいとは思いますが。
- ・会議室等の利用人数の制限や、セルフカフェの休止などは、残念だが仕方ないと思う。
- ・利用人数の制限があるため、市の有料施設を利用することが増えた。

Q6. その他の事業や管理・運営など全般について、ご意見・ご要望・ご感想をご記入ください。また、予約や貸出しの方法などについてもお聞かせください。

* 自由記述の主な内容

- ・団体の活動にとってセンターの存在はありがたい。今後も継続をお願いしたい。
- ・存在自体が心強い。これからも困った時の相談先として指導をいただきたい。
- ・オンライン全盛でも、そこに「空間」があることは大事だと思う。顔を合わせることの重要性も感じる。
- ・今の状況では難しいとは思いますが、閉塞感を無くしていくような市民活動の動きが欲しい。
- ・同じ団体が定期的に使っていることもあり、新規の団体はちょっと遠慮してしまう。
- ・ネット上での予約ができればいいと思う。
- ・アンケートの回答をwebからも入力できるようになり、よいと思う。
- ・すべての人がインターネットを使えるとは限らないので、そのことにも配慮した運営をお願いしたい。

5. 経営管理業務

◇アンケート結果の分析

- ・「施設・設備」については、「満足」が半数を超え、「不満足」という回答はなかった。「わからない」という回答が1割強あったが、自由記述欄に「新規登録をしたばかりでまだ施設を利用したことがない」といった記述が目立った。基本的な設備には概ね満足をいただいているものの、「もっと広い部屋がほしい」といった声も毎年複数寄せられている他、無線LANを増強してほしいといった要望もあった。新型コロナウイルスの影響もあると考えられる。
- ・「情報提供」についても、「満足」が半数を超え、「不満足」という回答はなく、施設・設備についての設問とほぼ同様な回答の傾向が現れた。方法や頻度等について、評価をいただくコメントが多くあったが、「webと郵送の両方で情報提供がされ、助かっている」という声がある一方で、「ちばさぼ通信は郵送でなく、メール（のみ）でよいと思う」という声もあった。利用方法についての情報提供を求める意見もあったので、既存の「利用案内」を広く周知するなどしたい。
- ・職員の「対応」については、8割以上から「満足している」という回答をいただいた。自由記述では「丁寧」「親切」といったコメントや多くの謝辞をいただいたが、気を緩めることなく、利用者に満足いただける対応を続けるよう心がけたい。
- ・「講座や相談」については、わからないという回答が半数あったが、それを除けば、「満足」と「やや満足」で9割以上を占めた。オンラインの活用に関する講座の開催を望む声や、センターのイベントもオンラインで開催してほしいという声が目立った他、具体的な提案や要望も複数寄せられたので、参考にしたい。
- ・昨年度との比較では、「新型コロナウイルスの影響があるので比較しづらい」という記述が目立ち、「わからない」が2割を占めた。「悪くなった」が4件あるが、会議室等の利用人数に制限がかかったことを理由として挙げる回答が見られた。
- ・その他の自由記述の内容でも、新型コロナウイルスに関連する内容が多く目についた他、さまざまな意見・提案・感想が寄せられたので、参考にしたい。

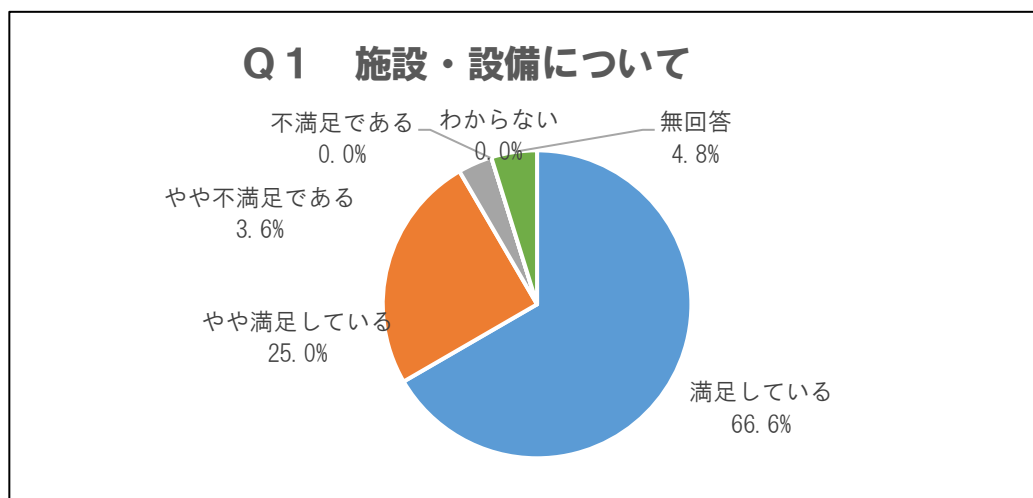
●2020 年度 第 2 回利用者アンケート

- ・実施期間：2021 年 3 月 1 日～3 月 31 日
- ・回答数：84 件（うち、web からの回答は 50 件）

※登録団体へ郵送、センター来館者へ手渡し、ホームページ・facebook ページへの掲載、メンバーリストへの発信により回答を依頼。調査票に QR コードを載せて、ホームページから回答がしやすいようにした。

◇集計結果の報告

Q1. 当センターの『施設・設備』（会議室、印刷機、活動サロン、貸出備品等）の使いやすさなど、全体的な満足度について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。



* 自由記述の主な内容

[評価・謝辞等]

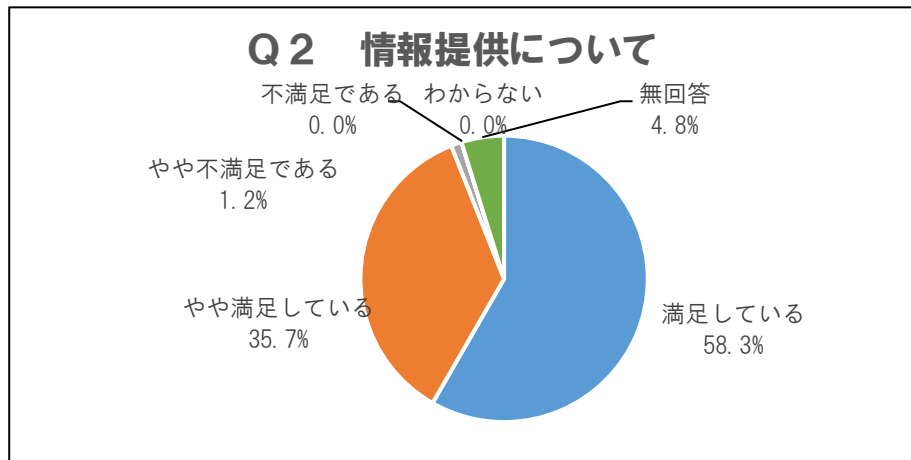
- ・必要な設備がコンパクトにまとまっていて利用しやすいうえ、無料で利用できる。
- ・千葉駅から至近で、メンバーが集まりやすい。
- ・土日や夜間も（平日は）開いていて助かる。
- ・紙折り機があるのがよい。
- ・施設の空き状況がわかりやすくホームページに表示されている。

[意見・要望等]

- ・広い会議室がほしい。（50 人程度収容出来る部屋をどこかとシェアして持ってほしい。）
- ・会議室の通路が狭い。
- ・紙折り機の使い勝手が悪い（うまく折れない）。

5. 経営管理業務

Q2. センターの『情報提供』（ホームページ、「ちばさぼ通信」、メールマガジン、facebook ページ等）の満足度について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。



* 自由記述の主な内容

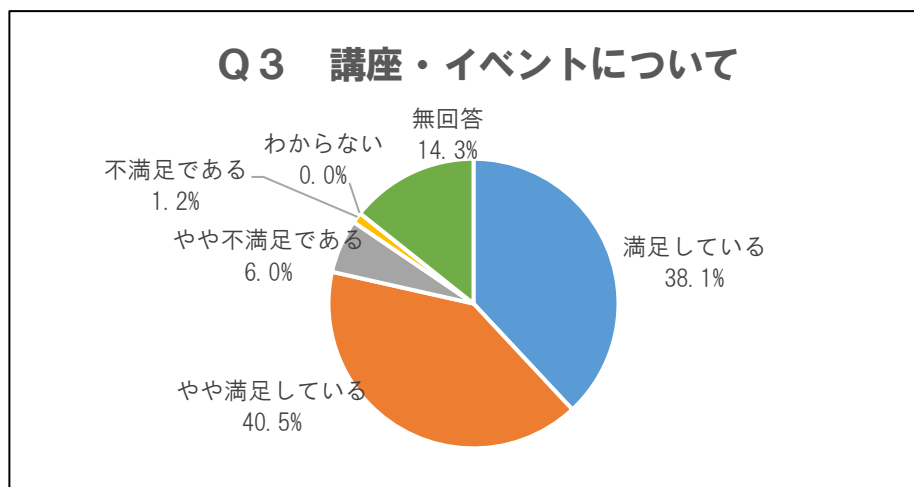
[評価・謝辞等]

- ・ホームページ、SNS、紙媒体と、それぞれの特徴を持たせて情報発信している。
- ・定期的に、タイムリーに情報が届くので、情報収集のツールとして活用している。
- ・ちばさぼ通信の団体紹介コーナーで他団体の活動内容を知ることができ、役に立っている。
- ・コロナ禍であるが、いろいろ積極的に発信していると感じる。

[意見・要望等]

- ・ちばさぼ通信は、レイアウト面でやや読みにくさを感じる。
- ・印刷物（紙媒体）はかさばって、後から探すのは大変なので、デジタル化が進むとよい。
- ・通信の送付状の他、裏が白いチラシ類が多く、紙資源がもったいないと感じる。

Q3. センターの『講座やイベント』について、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。



5. 経営管理業務

* 自由記述の主な内容

[評価・謝辞等]

- ・市民活動フェスタで動画を撮影してもらい、DVD で配布したりできて大変良かった。
- ・オンラインを活用した市民活動フェスタは、貴重な体験となった。
- ・オンライン方式の講座をいろいろやっていてよい。
- ・なかなか参加できないが、都合がつけば参加してみたい講座やイベントが多くある。
- ・ほとんど参加できていないが、興味を持つ会員がいるので情報は知っている。

[意見・要望等]

- ・オンラインの講座等は、スマホだとデータを多く使ってしまうので参加しづらい。

[参加してよかったと思う講座・イベント]

- ・オンライン時代の広報 (PR) を考える (4 件)
- ・まちなかボランティア養成講座 (3 件)
- ・千葉市民活動フェスタ (3 件)

[開催してほしい講座・イベント]

- ・オンライン方式の会議やセミナーの開催の仕方 (3 件)
- ・HP の立ち上げ・活用など (2 件)

Q 4. その他、ご感想やセンターに期待すること、団体の課題など何でも自由にお書きください。

* 自由記述の主な内容

[評価・謝辞等]

- ・スタッフの対応が親切丁寧で、快適に利用させてもらっている。
- ・恥ずかしいような質問にも和やかに答えていただき、感謝している。
- ・コロナ対策にも気を遣っている様子や、規制が多い中、利用者の要望に極力応えようというという姿勢が伝わってくる。
- ・活動の継続には、なくてはならない存在。場所の提供もありがたいし、必要な支援や情報が得られる市民活動の拠点として、心強く思う。

[団体の課題他]

- ・新型コロナウイルス対策でイベントをオンラインに変更して実施しているが、参加者が増えない。
- ・オンライン練習会などを実施しているが、参加者が少ない。会員の平均年齢が 60 歳代後半なので致し方ないかと思うが、何か良い方法がないか思案中である。
- ・with コロナ、after コロナでの活動形態や、会員に対する求心力の維持方法、活動の方向性等々の課題がある。
- ・新型コロナウイルス対策でオンライン会議が増えたが、目が疲れたりするなど、実際に会っての会議には及ばないと感じる。
- ・メンタルにアップダウンのあるスタッフで活動をしているが、チラシ作りや、オンライン開催などの世の中のスピードに追いつくのがまだまだという面がある。迷った際は、また相談に乗っていただけたらありがたい。

5. 経営管理業務

◇アンケート結果の分析

- ・「施設・設備」については、3分の2が「満足」という回答だった。「コンパクト」であることや、千葉駅から至近であること、土日や夜間も開館していることを評価するコメントが多く見られた。また「やや不満足」という回答が3件あり、紙折機についての意見が複数あった。また、広い会議室がほしいという要望が毎回寄せられるが、「どこか他の施設とシェアしてはどうか」といった趣旨の意見や、「会議室の通路が狭い（机の幅が広いため）」といった声もあった。
- ・「情報提供」については、「満足」が半数以上を占めており、「やや不満足」は1件のみだった。多様な方法・内容の情報発信を評価いただく声がある一方で、紙媒体での発信について、省資源化の観点からの改善意見も寄せられた。
- ・「講座・イベント」については、「満足」と「やや満足」が約4割ずつを占めた。特に初めてオンラインを活用して開催した市民活動フェスタについて、複数の方から評価するコメントをいただいた他、広報（PR）の講座が高く評価された。オンライン方式の講座等についてはニーズがある一方で、「スマホだとデータを多く使ってしまうので参加しづらい」という声もあった。新型コロナウイルスの状況にも左右されるが、開催方式についてはいろいろ考えていきたい。
- ・その他の自由記述であるが、非常に多くのコメントが寄せられた。特にスタッフの対応について評価をいただく内容や、施設の存在をありがたく思うといった内容が目立った。また、新型コロナウイルスの感染拡大による団体運営の課題や悩みも多く寄せられた。

(2) 自己評価

●4月

○受託事業：概ね計画通り

4月に開催を予定していた以下の事業は、新型コロナウイルスによる感染症の拡大防止等の理由により、中止または延期とした。

- ・No. 23「専門家による個別相談」

：臨時休館日、及び利用時間短縮により閉館となる時間帯に予定されていた個別相談は原則として中止とした。ただし、既に申し込みが入っていた行政書士相談（4/28（火）が従来の開催日）については、申込者と相談員の協議により、センターの外部にて、4/24（金）に相談を行った。

- ・No. 24「施設のPR」

：4/26（日）に予定していた、「いい街ちばフリーマーケット」における施設のPR活動は中止とした。

- ・No. 27「シニア世代の地域活動促進事業」

：4/25（土）に開催予定としていた『シニア世代の地域活動促進セミナー「地域の中で自分を活かす」』は延期とした。

○自主事業：概ね計画通り

○その他

- ・千葉市の行政各課から、事業の周知（広報）への協力依頼や、アンケート実施についての協力依頼などが複数あったが、すべてについて対応した。なお、対応を継続中（翌月に実施予定）のものもある。

●5月

○受託事業：概ね計画通り

- ・No. 06「ホームページの運営」に関して、ホームページのSSL化を完了した。

- ・No. 27「シニア世代の地域活動促進事業」に関して、「千葉市生涯現役応援センター」との連携を深め、8/31に同センターが主催で開催予定のセミナーの企画に、「協力」という形で関わっている。具体的には、登録団体の紹介・つなぎ等を行っている。

※5月に開催を予定していた以下の事業は、新型コロナウイルスによる感染症の拡大防止等の理由により、中止または延期とした。

- ・No. 14「話し方実践講座／プレゼンテーション講座」

：5/23（土）に開催予定としていた「話し方実践講座」は延期とした。

- ・No. 24「施設のPR」

：5/24（日）に予定していた、「いい街ちばフリーマーケット」における施設のPR活動は中止とした。

○自主事業：概ね計画通り

5. 経営管理業務

○その他

- ・千葉市社会福祉協議会から、今年度の新規事業で、10月に開講予定の「ボランティア大学校（仮称）」の企画運営に関する相談があった。比較的大きな関わり方を求められており、お互いにとってプラスとなるよう、継続して対応を続けていく予定。

●6月

○受託事業：概ね計画通り

- ・No. 17「多様な主体との連携」に関して、大学（千葉経済大学）との連携を進めるためのアプローチを行っている。当初は「ボランティア・市民活動マッチングプログラム」を共同開催する方向で協議を行っていたが、新型コロナウイルスの影響も鑑み、広い視点で連携の可能性を模索している。

○自主事業：概ね計画通り

○その他

- ・5月より継続して、千葉市社会福祉協議会からの相談（10月に開講予定の「ちばし地域づくり大学校」の企画への助言や講師依頼）に対応している。なお、講師料が発生するが、お金の授受は個人または指定管理者を構成する個別の団体で行う。

●7月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 17「多様な主体との連携」に関して、継続的に対応をしていた、千葉市社会福祉協議会からの「ちばし地域づくり大学校」のカリキュラムへの助言や講師紹介の依頼に関して、3名の講師を紹介した。

○自主事業：概ね計画通り

●8月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 17「多様な主体との連携」に関して、千葉経済学園（大学・短大・高校）との連携を進めるため、先方の担当者と具体的な打合せを開始している。特に、事業 No. 15「ボランティア・市民活動マッチングプログラム」の趣旨に沿った事業を、両者の共催のような形で行うことを視野に入れて協議をしている。

○自主事業：概ね計画通り

○その他

- ・千葉市の所管課以外の部署から、事業の周知への協力依頼や、市民活動団体宛てのアンケート送信の協力依頼など、複数の依頼が寄せられたが、すべてに対応している。

●9月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No.9「市民活動交流サロン」について、初めて、センターの facebook ページ上に動画を公開する形で開催した。具体的には、出演者（ゲスト3名とスタッフ2名）のみが Zoom ミーティング上で対談を行い、その動画を facebook ページ上でリアルタイム配信し、一般の参加者は facebook のコメントで質問等を投稿してもらう形とした。また、終了後も facebook ページで動画を閲覧できる状態になっている。
- ・今回は3名のゲスト以外の参加者は、質問等を facebook 上に投稿してもらう、といった形での参加になり、口頭での発言はできない。

○自主事業：概ね計画通り

○その他

- ・企業からの社会貢献に関する相談が寄せられており、今後、実際にお会いして対応をする予定。
- ・千葉経済学園（大学・短大・高校）との連携（「ボランティア・市民活動マッチングプログラム」の趣旨に沿ったイベントの共催による実施）を検討し、具体的な打合せを行っていたが、コロナ禍のため先方の内部で調整がつかず、今年度は共催によるイベントの開催は見送ることとなった。

●10月

○受託事業：概ね計画通り

○自主事業：概ね計画通り

○その他

- ・他の自治体の市民活動支援施設などから、講師の依頼や、当センター主催のオンライン方式の事業についての質問等が複数寄せられており、いずれも前向きに対応をしている。

●11月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No.7「市民活動フェスタの開催」に関して、11月8日より、特設ウェブサイトの開設や、公開収録ステージ、インターネット放送局、資料の配架など、オンラインとリアルな会場でのプログラムとを組み合わせ開催している。従来は2日間の開催だったが、特設ウェブサイトは約4週間開設することとしている。
- ・事業 No.26「セルフカフェコーナーの設置」であるが、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえて、引き続き休止としている。

○自主事業：概ね計画通り

●12月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 7「市民活動フェスタの開催」に関して、特設ウェブサイトの開設期間は12月6日までとしていたため、予定どおり12月6日に閉鎖したが、サイトには市民活動団体の紹介など、市民にとって有益な内容も含まれているため、再公開を検討している。
- ・事業 No. 26「セルフカフェコーナーの設置」であるが、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえて、引き続き休止としている。

○自主事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 31「印刷機の貸出」に関して、12月7日にコインベンダーが故障し、メーカーが引き取って修理をすることになったが、利用者が不利益を被らないよう、料金を現金で徴収する形で運用を続けた。なお12月23日に修理が完了し、再度コインベンダーが設置された。

○その他

- ・千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議（第2回研修会）が、12月21日にオンライン方式で開催された。従来この会議には1名のみが参加することが多かったが、今回は2名が参加した。

●1月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 17「多様な主体との連携づくり」に関して、「生涯現役応援センター」との連携を深めている。具体的には、先方のセンターに相談に来た方で、市民活動に関心がある方、団体の立ち上げを考えている方などを、積極的に当センターにつないでいただいている。実際1月には、そうした方が2名、当センターに相談のために来所された。

○自主事業：概ね計画通り

○その他

- ・市の所管課以外の部署（住宅政策課や広報広聴課、各区役所の地域振興課）からの事業の周知依頼が多くあり、すべてに対応をしている。

●2月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 7「市民活動フェスタの開催」に関して、開催期間は終了し、実行委員会も解散しているが、実行委員や参加団体からの提案を受けて、特設ウェブサイトを2月9日より再公開している。なお参加団体に確認をとり、再公開を希望しない団体の情報は非公開としている。
- ・事業 No. 8「市民活動交流サロン」に関して、当日にオンラインで視聴した人は15名であったが、終了後に動画（録画）を公開したところ、2月末時点での再生回数は約700回に達している。

5. 経営管理業務

- ・事業 No. 17「多様な主体との連携づくり」に関して、NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブからの呼びかけで、「県内の多様な主体による災害対応ネットワークづくりに向けて」をテーマとしたコアメンバー会議に参加した。今後もセミナー等が計画されているようなので、参加を続けたい。

○自主事業：概ね計画通り

○その他

- ・登録団体を対象に、新型コロナウイルス感染拡大の影響に関するアンケートを、2月9日から21日の期間に実施した。現在、その回答を集計中である。
- ・千葉県と千葉県社会福祉協議会が主催の、防災（災害時対応）をテーマとした「ボランティアセンター・市民活動支援センター合同研修会」（2月25日開催）に参加した。

●3月

○受託事業：概ね計画通り

- ・事業 No. 15「ボランティア・市民活動マッチングプログラム」に関して、新型コロナウイルスの感染拡大により、今年度は事業計画通りの内容を実施することはできなかったが、次年度を見据えて、まずは、ボランティアや新メンバーの積極的な受け入れを考えている団体を紹介する「マッチングカタログ（仮称）」を作成することとし、登録団体への案内を開始した。

○自主事業：概ね計画通り

○その他

- ・千葉県主催の、令和2年度第2回ボランティアセンター・市民活動センター合同研修会（オンライン方式）に参加。テーマは「2020 大会関連ボランティアとつくる地域のボランティア活動」。千葉市外の市民活動支援施設の職員や、大会関連ボランティアとの交流を深めることができた。

（3）市との連絡調整の実施状況

- ・市との連絡調整については、日常的には電話および電子メールで行っているが、毎月一回、月次報告書提出の際に直接の打合せの場を設け、必要な報告や協議等を行っている。

6. 収支決算

(1) 受託事業の収支決算書

【収入の部】

分類項目	摘要	金額 (円)	小計 (円)
事業収入	指定管理料	19,372,000	19,372,000
	合計金額	19,372,000	19,372,000

【支出の部】

分類項目	摘要	金額 (円)	小計 (円)	
人件費	スタッフ人件費・業務交通費	9,663,953	9,663,953	
事務費	印刷機費用	76,481	1,341,891	
	コピー機費用	46,237		
	一般事務消耗品費	190,233		
	レンタル備品費	1,028,940		
光熱費	電気水道光熱費	597,417	597,417	
通信費	電話回線使用料	120,390	168,456	
	プロバイダー料	47,982		
	郵便料金等	84		
管理費	保険料	14,227	3,942,467	
	ビル管理業務委託	211,352		
	清掃業務委託費	106,688		
	修繕費	46,200		
	事務局費	3,564,000		
事業費	1 市民公益活動関連情報資料の収集・提供	0	1,132,464	
	2 ボランティア情報の収集・管理・提供	0		
	3 図書の収集・管理・活用	9,088		
	4 情報誌の発行	1,045,034		
	5 メールマガジンの配信	0		
	6 ホームページの運営	78,342		
	交流事業	7 市民活動フェスタの開催	1,334,036	1,867,557
		8 市民活動交流サロン	1,722	
		9 千葉市を元気にするフォーラム	59,440	
		10 まちなかボランティア養成講座	128,766	
		11 ファシリテーター養成講座	64,542	
		12 地域コーディネーター養成講座	30,330	
		13 市民活動ステップアップ講座	125,166	
		14 話し方・プレゼンテーション実践講座	123,387	
		15 ボランティア・市民活動マッチングプログラム	0	
		16 サポーターの募集・育成	0	
		17 多様な主体との連携づくり	84	
		18 ボランティア募集情報提供施設との連携づくり	0	
		19 市民活動伝言板の設置	0	
		20 メーリングリストの運営	0	
		21 複数団体の連携の推進・支援	84	
相談事業	22 日常的な相談	0	84,720	
	23 専門家による個別相談	84,720		
その他	24 施設のPR	66,000	142,976	
	25 登録団体の企画支援	0		
	26 セルフカフェコーナーの設置	3,202		
	27 シニア世代の地域活動促進事業	73,774		
	28 運営協議会の設置・運営	0		
	29 「NPO法人を目指す方のための説明会」参加申込受付業務	0		
	合計金額	18,941,901	18,941,901	

6. 収支決算

(2) 自主事業の収支決算書

【収入の部】

分類項目	摘要	金額 (円)	小計 (円)
事業収入	30 情報誌への折り込み	40,000	521,448
	31 印刷機の貸出	165,180	
	32 カラーコピー機の設置	248,000	
	33 飲料・消耗品類の販売	68,268	
雑収入	銀行利息等	4	4
合計金額		521,452	521,452

【支出の部】

分類項目	摘要	金額 (円)	小計 (円)
人件費	スタッフ人件費・業務交通費	195,755	195,755
管理費	保険料	143	36,143
	事務局費	36,000	
事業費	30 情報誌への折り込み	0	255,198
	31 印刷機の貸出	184,716	
	32 カラーコピー機の設置	43,538	
	33 飲料・消耗品類の販売	26,944	
合計金額		487,096	487,096

自主事業収支残高		34,356
----------	--	--------